

# R7年度 名護市コミュニティバス利用者アンケート調査結果 (羽地・屋我地線)

---

令和7年12月18日  
名護市

## 利用者アンケートの実施概要

羽地・屋我地線の全利用者を対象に2025年9月下旬～10月上旬の平休各4日に利用者アンケートを実施。

調査は紙での配布およびWEBアンケートにより実施。

114人に配布し、33人の回答を得た（回収率約29%）

背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6年度の調査（R6年11月頃実施）では、当時運行中の循環線および二見以北線利用者の具体的な利用の仕方や利用者の要望を聴取済み（結果はP4～6参照）</li> <li>羽地・屋我地線はR7年1月14日に運行を開始しており、具体的な利用の仕方等について把握できていない状況</li> </ul>		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>羽地・屋我地線利用者の利用状況や要望を把握</li> <li>路線バス・タクシーへの影響を把握</li> </ol>		
実施方法	対象	<p>コミュニティバスなご丸 羽地・屋我地線の全乗客</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-複数回利用者に対しては一枚のみの配布</li> <li>-小学生の利用者は、保護者が回答</li> </ul>	
	手法	配布	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査員がなご丸に乗車し、利用者の乗車時にアンケート用紙（A4×4ページ）と返送用封筒を直接配布</li> <li>車内にQRコードとアンケート依頼のチラシを掲示</li> </ol>
		回収	郵送またはWEB
	実施期間（案）	<p>平日4日：9/29（月）、9/30（火）、10/1（水）、10/2（木）                  休日4日：9/27（土）、9/28（日）、10/4（土）、10/5（日）</p>	
配布数	114人（のべ利用者数372人の30%）		
回収数	33人（紙：19人、WEB：14人）		
回収率	29% <参考> R6年度調査の回収率は27%		

# 利用者アンケートの設問項目

設問項目		R6聴取	活用の視点	
1 基本属性	1 居住地	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本情報</li> <li>※屋我地ひるぎ学園や通学利用が多いため職業は小学・中学・高校等の違いが分かるようにR6年度から選択肢を変更</li> <li>• 免許返納のハードルとなっている状況を把握</li> </ul>	
	2 年齢	○		
	3 職業	○		
	4 世帯人数	○		
	5 自動車保有台数（世帯、個人）	○		
	6 免許保有有無	○		
	7 自動車の運転状況	○		
	8 免許返納意向	○		
2 なご丸の運行に関する考えや要望	外出の変化（頻度） －変化の有無 －増加の回数	○	• なご丸による移動総量の増加効果を把握	
	1 外出の変化（行き先） －変化の有無 －具体的な行き先の変化	○	• なご丸による移動総量の増加効果を把握	
	自動車運転頻度の変化 －変化の有無 －減少の回数	○	• なご丸による自動車からの転換効果を把握	
	2 満足度（ルート・時間帯）	○	• 下設問の前提状況	
	運行希望区間・時間帯 －区間、時間帯、施設 －今の移動手段	○	• ルート・ダイヤ改善への活用	
	3 満足度（運賃）	○	• 下設問の前提状況	
	運賃値上げに対する許容度 －値上げによる利用意向 －許容する金額	○	• 収支改善検討に活用	

設問項目		R6聴取	活用の視点
3 なご丸利用状況	なご丸を利用した外出について、頻度の多い目的・目的地の外出状況を最大3つ記載		
	1 目的	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 詳細な行き先ニーズ把握</li> <li>• 施設との連携の検討に活用</li> </ul>
	2 出発地	○	
	3 目的地	○	
	4 頻度	○	
	5 利用路線（方向別）	○	• ボリュームの把握
	6 利用バス停 －出発地付近 －目的地付近	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 路線・方向の判別（R6年度は運行していたのは循環線・二見以北線）</li> <li>• どのバス停からどの施設に行ってるかを把握</li> <li>• 施設との連携の検討に活用</li> </ul>
	7 利用時間帯 －行きの利用有無・時間帯 －帰りの利用有無・時間帯	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 目的地と合わせて、具体的なニーズの把握</li> <li>• 片道利用の詳細を把握</li> </ul>
	8 片道のみ利用時のもう片方の移動手段	○	• 片道利用時の他手段との連携状況を把握
9 なご丸運行前の移動手段	○	• 他手段との競合有無とボリュームを把握	
4 なご丸改善要望	1 自身のための改善要望（自由意見）	今回追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>• R6年度の利用者アンケートでは設問に自由意見を設けていなかったにも関わらず欄外に多くの自由意見が記載されていたため設問として設置</li> </ul>
	2 周りの人のための改善要望（自由意見）	今回追加	
	5 1 名護市の交通政策に関する自由意見	今回追加	

# R7年度利用者アンケート調査票（A4）（1 / 2）

## 名護市コミュニティバス(なご丸)

### 羽地・屋我地線利用者アンケート調査のお願い

【調査主体】名護市建設部まちなか再開発・公共交通課 【調査実施委託先】KPMGコンサルティング株式会社

#### 名護市コミュニティバス（なご丸）羽地・屋我地線を利用されている方へ

名護市では、公共交通は高齢者をはじめとする自家用車等の移動手段を持たない住民にとって、日常生活を送るうえで重要な役割を担っています。

一方で、**自家用車の普及、少子高齢化、人口減少等社会情勢の変化に伴い、公共交通利用者は年々減少傾向にあり、公共交通の維持が非常に困難な状況にあります。**

このような状況を踏まえ、


**名護市コミュニティバス（なご丸）羽地・屋我地線利用者へのアンケート調査を実施**いたします。（循環線、二見以北線利用者には昨年度実施）

本市の交通政策に活かすことを目的としており、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査へのご協力をお願いいたします。

令和7年9月

名護市建設部まちなか再開発・公共交通課

**市民の皆さまの意見が今後の行政施策に生かされる貴重な機会です。ぜひ、皆さまの声をお聞かせください。ご協力のほどよろしくお願い致します。**

アンケートの対象者	普段、名護市コミュニティバス（なご丸）羽地・屋我地線を利用する方	
回答方法	下記の①もしくは②のいずれかの方法で回答 ① この回答用紙に記入後に同封の返送用封筒に入れて、封をした上で投函（切手不要） ② 右記のURLもしくはQRコードよりアクセスできるWEB回答フォームより回答（スマートフォンやパソコンで回答）	 <a href="https://forms.office.com/e/RfemSntjh">https://forms.office.com/e/RfemSntjh</a>
回答上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>小学生の利用者の方は、保護者の方からご回答をお願いします</b></li> <li>● 回答の所要時間はおおむね10分程度です。</li> <li>● ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。</li> </ul>	
問い合わせ先	名護市建設部まちなか再開発・公共交通課 担当：金城、比嘉 Mail：machinakakoutsu@city.nago.lg.jp	

#### Q1 あなたご自身のことについて教えてください

保護者の方は、お子さまのことについて教えてください

①お住まい	1. 名護市内〔 〕(55区のいずれか) 2. 名護市外の沖縄県内〔 〕(市町村) 3. 沖縄県外〔 〕(都道府県)	②年齢	〔 〕歳
③職業	1. 小学生 2. 中学生 3. 高校生 4. 高専生 5. 専門学生 6. 大学生 7. 社会人 8. パート・フリーター 9. 専業主婦・無職 10. その他〔 〕		
④同居人数	〔 〕人 ※自分を含めた人数	⑤世帯の自動車保有台数	〔 〕台
⑥自分で自由に利用できる自動車の有無	1. 自由に利用できる 2. 主として利用できる 3. 主ではないが利用できる 4. ほとんど利用できない 5. 利用できない		
⑦運転免許の有無	1. 持っており普段から運転する 2. 持っているがあまり運転しない 3. 持っていない 4. 持っていたが返納した→返納時の年齢〔 〕歳		
⑧自動車の運転状況	1. 問題なく運転できる 2. 運転できるが少し不安がある 3. 運転できるがかなり不安がある 4. 運転できない		
⑨運転免許返納意向	1. 返納予定→返納予定の年齢〔 〕歳 2. 返納する予定はない 3. 返納したいが、ほかの移動手段がなくてできない		

#### Q2 名護市コミュニティバス（なご丸）に関する考えや要望について教えてください

保護者の方は、お子さまのなご丸の利用に対する状況や要望について教えてください

① 名護市コミュニティバス（なご丸）の運行による、あなたの外出の変化について教えてください

なご丸の運行により外出の頻度は増えましたか	1. 増えた → 月に〔 〕日程度増えました 2. 変わらない
なご丸の運行によりこれまであまり行かなかった場所にも行くようになりましたか	1. よく行くようになった → 具体的な施設 2. たまに行くようになった → 〔 〕 3. 変わらない
なご丸の運行により、自動車を運転する頻度は減りましたか (保護者の方は、お子さまがなご丸を利用することで自動車による送迎頻度が減ったかを教えてください)	1. 減った → 月に〔 〕日程度減った 2. 変わらない

#### ② 名護市コミュニティバス（なご丸）の運行ルート・運行時間帯についてどの程度満足していますか（1つに○）

<運行ルート> 1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満  
<運行時間帯> 1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

➡ 新規にコミュニティバスを運行してほしいルートや時間帯があれば、その詳細を教えてください

利用したいルート (施設名や地名を記入)	〔 〕から〔 〕 例：自宅 から 宇茂佐	利用したい時間帯	行き〔 〕時台 帰り〔 〕時台
具体的に行きたい施設	〔1つ記入〕例：北部地区医師会病院		
行きたい施設の利用頻度	① 上記の施設を今は……月に〔 〕回程度利用している ② 気軽にに行けるようになった場合……月に〔 〕回程度利用したい		
行きたい施設への今の移動手段	1. 今はその施設への移動はできていない（あきらめている） 2. 自家用車(自分で運転) 3. 家族等による送迎 4. タクシー 5. バイク・原付 6. 自転車 7. 徒歩のみ 8. その他〔 〕		

③ なご丸（羽地・屋我地線 計8便）運行のために年間約2,100万円の市の負担が想定されており、今の利用実態のまま現状のサービスレベルで継続的に運行を続けていくためには収入増加策と合わせて減便や廃止も視野に入れて改善検討を進めていく必要があります。この状況を踏まえて、なご丸の運行に対する許容度を教えてください（今後も利用を継続する上限の金額）

1. 600円 2. 500円 3. 400円 4. 300円 5. 200円 6. 100円  
7. 今より高い金額になるなら利用しない

# R7年度利用者アンケート調査票（A4） （2 / 2）

Q3 名護市コミュニティバス（なご丸）を利用した外出移動について教えてください ＜頻度の多い移動順（目的・目的地別）に最大3つまで回答＞		保護者の方は、お子さまのなご丸の利用状況について教えてください					
名護市コミュニティバス（なご丸）を <b>行きのみ</b> 利用している、 <b>帰りのみ</b> 利用している場合も含めてご回答ください。							
＜設問＞	最も利用する目的	2番目に利用する目的	3番目に利用する目的				
①目的 (1つに○)	<b>選択肢</b> 1. 通勤・通学 2. 買物(日用品) 3. 買物(日用品以外) 4. 通院 5. 娯楽(外食・遊び等) 6. 公共施設への来訪 7. 観光 8. その他〔 〕 1 2 3 4 5 6 7 8 1 2 3 4 5 6 7 8 1 2 3 4 5 6 7 8						
②出発地 (それぞれ記入)	外出移動の出発地が自宅の人は、施設名に「自宅」と記入 <b>施設名</b> 〔 〕 <b>施設名</b> 〔 〕 <b>施設名</b> 〔 〕 <b>行政区</b> (55区のいずれか) <b>行政区</b> (55区のいずれか) <b>行政区</b> (55区のいずれか) 〔 〕区 〔 〕区 〔 〕区						
③目的地 (それぞれ記入)	<b>施設名</b> 〔 〕 <b>施設名</b> 〔 〕 <b>施設名</b> 〔 〕 <b>行政区</b> (55区のいずれか) <b>行政区</b> (55区のいずれか) <b>行政区</b> (55区のいずれか) 〔 〕区 〔 〕区 〔 〕区						
④頻度(数値記入)	月に〔 〕日程度	月に〔 〕日程度	月に〔 〕日程度				
⑤利用路線 (行き・帰りどちらも含めて利用する路線すべてに○)	<b>選択肢</b> 1. 羽地・屋我地線(名護バスターミナル行) 2. 羽地・屋我地線(運天原行) 3. 循環線(右回り) 4. 循環線(左回り) 5. 二見以北線(名護バスターミナル行) 6. 二見以北線(天仁屋行) 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6						
⑥利用バス停 (それぞれ記入)	<b>出発地付近のバス停</b> 〔 〕 <b>目的地付近のバス停</b> 〔 〕	<b>出発地付近のバス停</b> 〔 〕 <b>目的地付近のバス停</b> 〔 〕	<b>出発地付近のバス停</b> 〔 〕 <b>目的地付近のバス停</b> 〔 〕				
⑦利用時間帯 行き・帰りそれぞれ1つに○をし、利用する場合は利用時間帯を記入	<b>&lt;行き&gt;</b> 1. 利用する→〔 〕時台 2. 利用することはない <b>&lt;帰り&gt;</b> 1. 利用する→〔 〕時台 2. 利用することはない	<b>&lt;行き&gt;</b> 1. 利用する→〔 〕時台 2. 利用することはない <b>&lt;帰り&gt;</b> 1. 利用する→〔 〕時台 2. 利用することはない	<b>&lt;行き&gt;</b> 1. 利用する→〔 〕時台 2. 利用することはない <b>&lt;帰り&gt;</b> 1. 利用する→〔 〕時台 2. 利用することはない				
⑧片道のみ利用の時のもう片方の主な移動手段 (1つに○)	⑦において<行き>を利用することはないと回答：行きの移動手段を下の選択肢から選択 <帰り>を利用することはないと回答：帰りの移動手段を下の選択肢から選択 <b>選択肢</b> 1. 家族等による送迎 2. 路線バス 3. 送迎バス 4. タクシー 5. 徒歩のみ 6. その他 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6						
⑨コミュニティバスなご丸運行前の主な移動手段 (1つに○)	なご丸運行前にこの目的地への移動に用いていた手段を下の選択肢から選択 <b>選択肢</b> 1. なご丸運行前は目的地への移動はしていなかった 2. 自家用車(自分で運転) 3. 家族等による送迎 4. 路線バス 5. 送迎バス 6. タクシー 7. バイク・原付 8. 自転車 9. 徒歩のみ 10. その他 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						

Q4 名護市コミュニティバス（なご丸）に関する改善要望について教えてください		任意記入 ページ
① あなた自身がもつなご丸を利用しやすくなるために改善してほしい点があれば、その内容を具体的に教えてください (ダイヤ・ルート・運賃・バス停環境・遅延等) (自由記述)	保護者の方は、お子さまが利用しやすくなるために改善してほしい点を教えてください	
<記載例>屋我地からイオンに行ってから、帰りに使える便が1日に2便しかない。羽地の駅などで別の路線に乗り換えでもよいので屋我地島から市街地に行くことのできる便数を増やしてほしい。		
②あなたの周りの方々がなご丸を利用しやすくなるために改善したほうが良い点があれば、どのような人にどのような改善をしたほうがよいかを具体的に教えてください。		
どのような人に関する意見かを教えてください 例：〇〇地区から〇〇学校に通う中学生、〇〇地区に住んでいる高齢者等	<記載例>名護高校から屋我地に帰りに利用できる便がなく送迎が余儀なくされているので、運天原行きの夕方の便も名護高校を経由したほうが良い。	
なご丸を利用しやすくなるために改善したほうが良い点を具体的に教えてください (自由記述)		
Q5 名護市の公共交通や交通政策に関する意見を自由にご記入ください。		
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。 記入いただきました回答用紙は返送用封筒に入れてポストに投函ください。		

## 調査結果まとめ（属性）

基本属性	職業・年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業で多いのは、パート・フリーターで<b>26%</b>、次いで専業主婦・無職<b>19%</b>、学生は小・中・高合わせて<b>36%</b></li> <li>回答者の年代で最も多いのは<b>10代（33%）</b>で、<b>65-74歳（27%）</b>であった。 <b>65歳以上の高齢者は31%</b>（10人）を占める。（うち、79%（6人）は専業主婦・無職）。</li> </ul>	P8
	居住地	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内居住が91% &lt;地区別&gt; 名護地区37% 羽地地区23%、屋我地地区23%</li> <li>市外居住者が9%（与那原町、今帰仁村）</li> </ul>	P9
	居住地×年代職業	<p>&lt;名護地区居住の利用者&gt; 小学生・中学生の利用者が36%</p> <p>&lt;羽地地区・屋我地地区居住の利用者&gt; 高校生の利用者がそれぞれ29%を占める</p>	P10

	全体 (回答者33名)	20歳未満 (回答者12名)	20~64歳 (回答者11名)	65~74歳 (回答者9名)	75歳以上 (回答者1名)
免許保有率 (内は普段から運転もする人)	18% (13%)	0% (0%)	45% (9%)	11% (0%)	0% (0%)
免許返納率	21%	0%	18%	44% (市民全体は4%)	100% (市民全体は15%)
世帯の自動車未保有率※	25% (市民全体は6%)	0% (市民全体は6%)	40% (市民全体は6%)	50% (市民全体は6%)	100% (市民全体は6%)
単身世帯率 (内は2人以下)	30% (50%)	0% (17%)	56% (56%)	38% (88%)	100% (100%)
運転に不安がある人の割合	50%	回答者なし (免許保有者なし)	54%	100% (回答者1人)	免許保有者0人
自分で自家用車で移動ができない割合※	91% (市民全体は13%)	100% (市民全体は46%)	82% (市民全体は6%)	89% (市民全体は13%)	100% (市民全体は32%)
備考	居住地別に大きな違いの傾向は確認できなかった				

返納のハードルを下げることに  
なご丸が寄与

自家用車を持たない生活環境の整備に寄与

自動車の運転に関する状況

免許をもっていない・返納した・自家用車を持っていない、送迎してくれる人がいない（単身世帯や高齢の2人暮らし）などの理由で自家用車での移動ができない人の移動の足となっている。

※市民全体の結果はR6年度実施住民アンケート

## 調査結果まとめ（なご丸 羽地・屋我地線利用に関する意見等）

なご丸利用による生活の変化	外出頻度の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出頻度が増えた人は64%であり、平均5.2日/月外出回数が増加（65歳～74歳（78%）と75歳以上（100%））</li> <li>外出頻度増えた人の平均増加日数は9.7日/月</li> </ul>	P16	移動機会の創発や自家用車に頼らない生活環境の整備に寄与
	行き先の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな行き先に行くようになった人は69%                      &lt;具体的な行き先&gt; 最も多いのはイオン名護店（64%）。</li> </ul>	P17	
なご丸運行への意見	満足度	<満足・やや満足> ルート69% 時間帯40% <不満・やや不満> ルート17% 時間帯47% ⇒ <b>時間帯に不満</b>	P19	時間帯の満足度を向上させる施策（デマンド交通等）の検討
	運賃の許容度	<b>&lt;有料でも利用を継続する高齢者の許容度&gt;</b> 65～74歳：100% 75歳以上：回答者なし <b>&lt;今より高くなるなら利用しない&gt;</b> 全体：13% 20歳未満：33% 20～64歳：0% 65～74歳：0% 75歳以上：回答者なし	P20	総合的な交通施策推進の費用とのバランスを踏まえたなご丸の運賃適正化も検討（コミュバス以外も含めた施策推進のための適正化）
新規ルートや時間帯の運行要望	希望の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規の<b>運行希望があるのは76%</b></li> </ul>	P21、22	なご丸のルート改善、他の移動手段との連携も含めた施策を検討 <例> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要拠点からのデマンド運行</li> <li>シェアサイクル</li> <li>高齢者用シェアモビリティ</li> <li>タクシー連携（コミュバス利用者へのタクシーチケット配布等）等</li> </ul>
	希望に対する今の移動手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望ルートに対する今の移動手段で最も多いのは<b>家族等による送迎で50%</b></li> <li>&lt;65～74歳&gt; <b>今は移動をあきらめている29%、タクシー43%</b></li> </ul>		
	出発地	<ul style="list-style-type: none"> <li>最も多いのが<b>自宅が64%を占める</b></li> </ul>	P24	
	目的地	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオン名護店で24%</li> <li>メイクマン名護店16%</li> <li>サンエー12%(店舗不明)</li> <li>北部地区医師会病院7%</li> </ul>	P25	

## 調査結果まとめ（なご丸 羽地・屋我地線 利用実態）

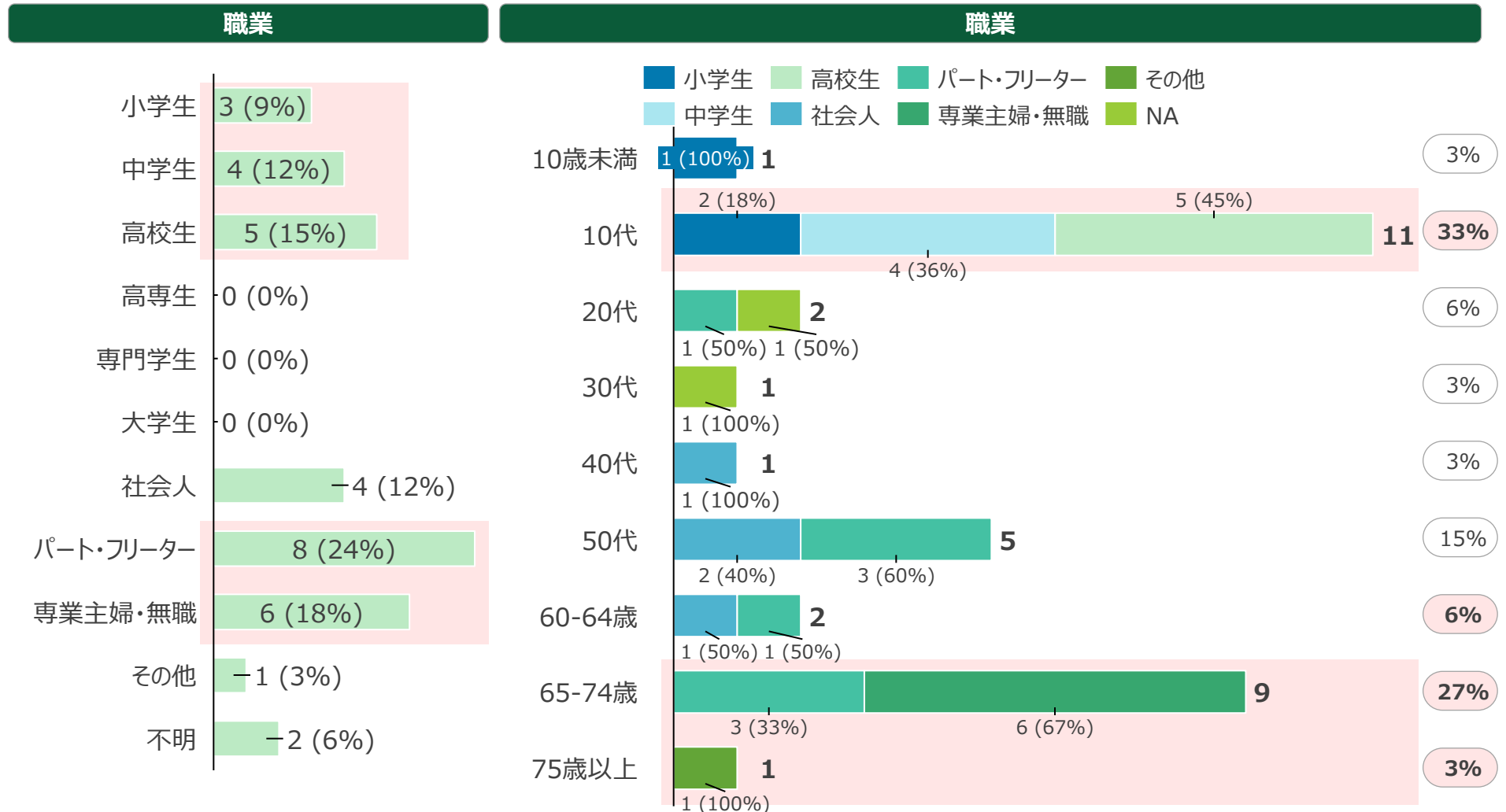
なご丸利用状況	移動の パターン	・移動パターン（移動先や目的）が <b>2つもしくは3つ以上ある人</b> （利用用途が複数の人）は <b>42%</b>	P26	様々な使い方がされており、 市民の移動利便性向上に 寄与している 通院の利用は少ない状況 （病院を経由しないルート であるため）
	利用路線	・ <b>羽地・屋我地線だけでなく循環線や二見以北線も利用</b> している人は <b>26%</b>	P27	
	利用目的	・最も多いのは＜全利用者計＞通勤・通学：63% 通院：2% ＜20歳未満＞ <b>通勤・通学：88%</b> ＜20～64歳＞ <b>通勤・通学：56%</b> <b>買い物（日用品）：39%</b> ＜65～74歳＞ <b>通勤・通学：50%</b> <b>買い物（日用品）：29%</b> ＜75歳以上＞ <b>買い物（日用品）：33%</b> <b>買い物（日用品以外）：33%</b>	P28	
なご丸を利用した 移動実態	出発施設	＜自宅＞71% ＜屋我地ひるぎ学園＞9%	P30	実際の利用のされ方を 参考にルート改善や 利用促進につながる周知 に反映
	目的施設	・同じバス停で降車していても目的施設はある程度分散されている ＜イオン降車＞ <b>診療所やイオン周辺施設（イオン降車の13%）</b> ＜名護バスターミナル降車＞ <b>周辺の飲食店や職場</b> ＜大北二区降車＞ <b>周辺の商業施設・飲食店</b>	P31	
	屋我地 ひるぎ学園 への登下校	・登下校に利用している人6人： <b>登下校ともに利用2人、下校時のみ利用4人</b> ・ <b>下校時のみ利用している人は家族等の送迎で登校</b> している。 ・また、全ての回答者が <b>なご丸運行前の登下校の手段は家族等の送迎</b>	P35	
	片道利用	・なご丸を利用した移動の <b>42%は片道利用</b> （学生を除くと44%） もう片方の移動手段： <b>家族等の送迎が66%を占め、送迎負担の軽減に寄与</b> <b>＜20～64歳＞タクシー利用45%</b> （元々タクシー利用は0人）	P32 、33	
他の移動手段 への影響	運行前の 移動手段	＜新しい移動＞1% ⇒移動の創発 ＜自家用車（自分で運転）＞9% ⇒脱炭素社会への貢献、運転負担の軽減 <b>＜送迎＞25%</b> ⇒ <b>送迎負担の軽減、余暇時間の確保</b> ＜路線バス＞30% ⇒屋我地地区～名護地区の移動からの転換が96% ＜タクシー＞0%	P34	他の移動手段との連携等 を通じて、 <b>移動全体の利便性向上 と公共交通を利用した 移動総量・割合を増加 させる施策を検討</b>
	転換者の 外出頻度	・なご丸運行前の路線バス利用者について <b>外出頻度が増加している人が56%</b> 増加していない人も含め3.0日/月増	P36	

## 調査結果（属性）：職業・年代

回答者の職業で多いのは、**パート・フリーターで24%**、次いで**専業主婦・無職で18%**、**学生は小・中・高あわせて36%**を占める。

回答者の年代で**最も多いのは10代で33%**を占める（計11人中、**小学生2人、中学生4人、高校生5人**）。

**65歳以上の高齢者は31%**を占める（計10人中、6人は**専業主婦・無職**）。



( ) 内は不明を除く全体に占める構成比

## 調査結果（属性）：居住地

回答者のうち名護市内居住者が91%を占め、羽地・屋我地線沿線の居住者が多い（大北、宮里、伊差川は3人以上）。  
ただし、羽地・屋我地線沿線のでも回答者がいない区もある（川上、親川、振慶名、山田、我部、屋我等）。

## 居住地

	回答者数	(%)
<b>市内居住</b>	<b>30</b>	<b>91%</b>
名護地区	11	37%
羽地地区	7	23%
久志地区	0	0%
屋部地区	1	3%
屋我地地区	7	23%
不明	4	14%
<b>市外居住</b>	<b>3</b>	<b>9%</b>
沖縄県内	3	9%
沖縄県外	0	0%
<b>合計</b>	<b>33</b>	<b>-</b>

## 居住地の内訳

名護市内							
名護地区		羽地地区		久志地区		屋部地区	
喜瀬	0	源河	0	久志	0	屋部	0
幸喜	0	稲嶺	0	豊原	0	宇茂佐	1
許田	0	真喜屋	0	辺野古	0	中山	0
数久田	0	仲尾次	2	二見	0	旭川	0
世富慶	0	川上	0	大浦	0	勝山	0
東江	0	親川	0	大川	0	山入端	0
城	1	田井等	2	瀬嵩	0	安和	0
港	0	振慶名	0	汀間	0	<b>屋我地地区</b>	
大東	0	山田	0	三原	0	饒平名	2
大中	1	仲尾	0	安部	0	我部	0
大西	0	伊差川	3	嘉陽	0	運天原	1
大南	0	内原	0	底二屋	0	済井出	2
大北	5	古我知	0	天仁屋	0	屋我	0
宮里	3	我部祖河	0			不明	2
為又	1	呉我	0				

## 沖縄県内

与那原町	2
今帰仁村	1

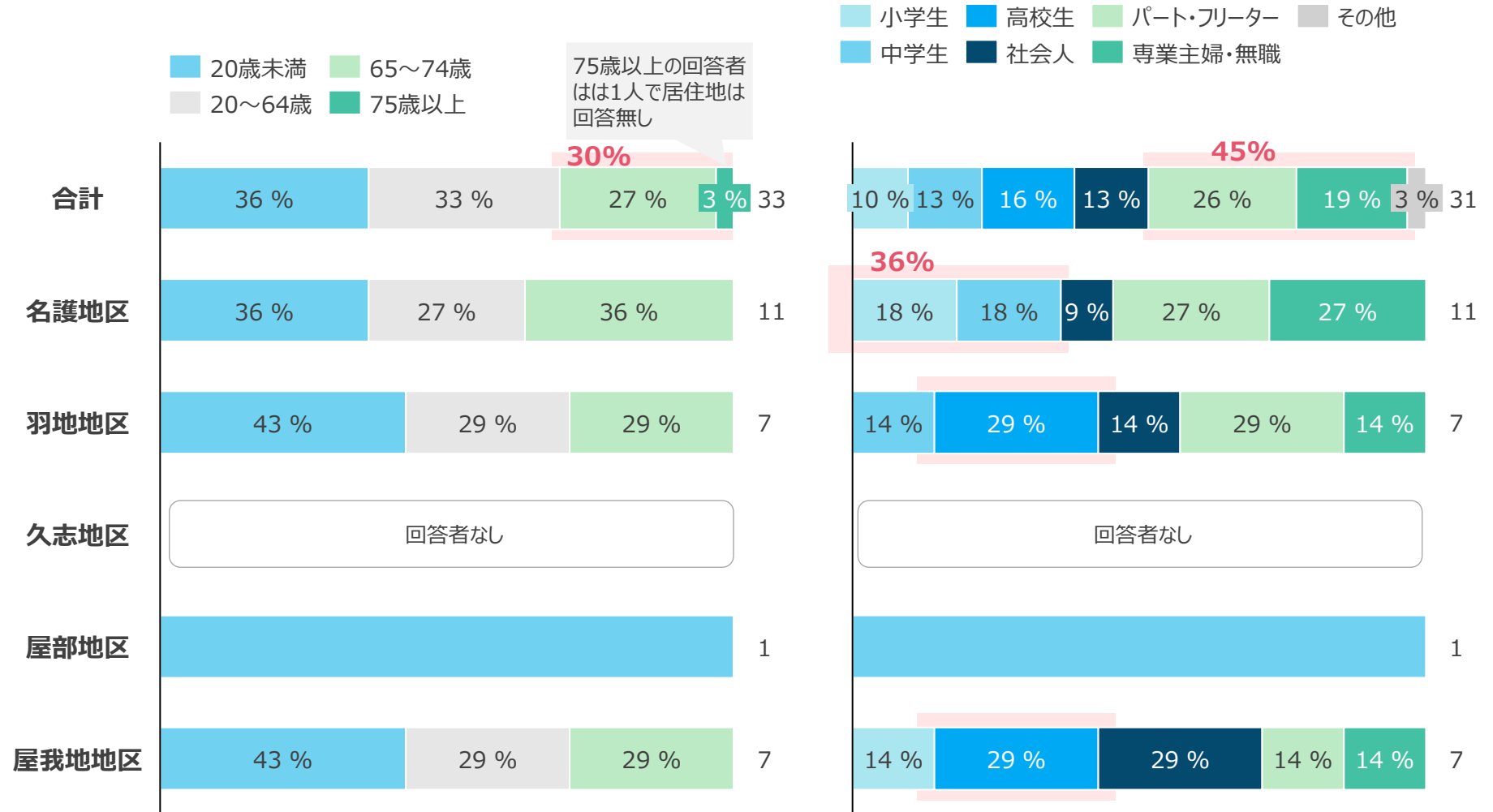
## 調査結果（属性）：年代・職業×居住地

<全体> 65歳以上の割合は30%を占める。パート・フリータもしくは専業主婦・無職の割合は45%を占める

<名護地区居住の利用者> 小学生・中学生の利用者が36%を占める。

<羽地地区・屋我地地区居住の利用者> 高校生の利用者がそれぞれ29%を占める

⇒沿線の高齢者や、名護地区の小・中学生、羽地・屋我地地区の高校生の移動の足として利用されている。



## 調査結果（属性）：免許保有・自動車運転・免許返納意向×年代

免許保有状況を見ると、免許を保有している人は18%で**普段から運転している人は3%**にとどまる。**免許を持っていないのは82%**（持っていない61%、返納21%）。免許保有者のうち、**運転に不安がある人は50%**を占める。免許の返納意向について、**免許保有者の17%（6人中1人）が返納したいと思っても他の移動手段がなくてできない**と回答。羽地・屋我地線は**自動車を運転できない人たちの足の確保として機能**している。

免許保有状況

- 持っており普段から運転する
- 持っているがあまり運転しない
- 持っていない
- 持っていたが返納した

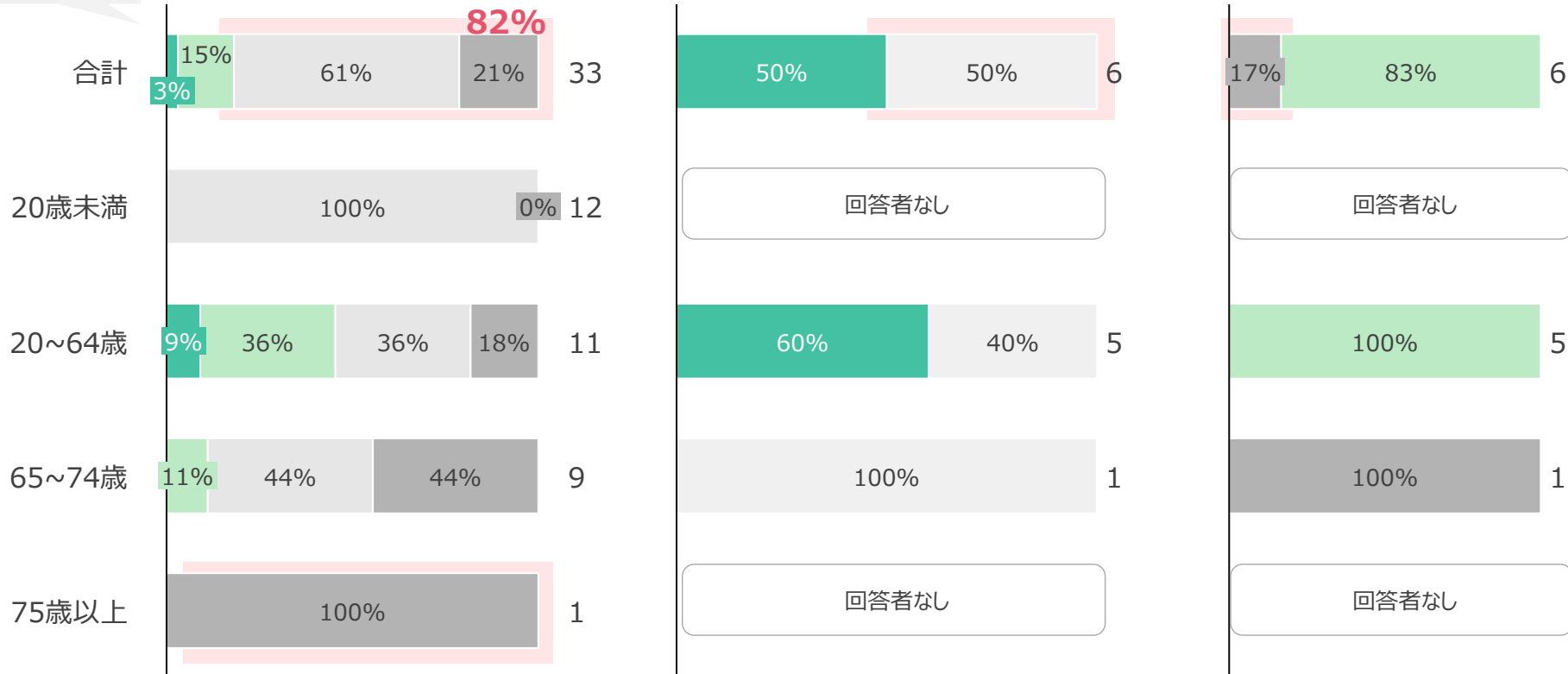
免許保有者について、  
なご丸運行により自  
動車の運転頻度が  
減った人はいない

自動車の運転状況（免許保有者のみ）

- 問題なく運転できる
- 運転できるが少し不安がある
- 運転できるがかなり不安がある

免許返納意向（免許保有者のみ）

- 返納予定
- 返納する予定はない
- 返納したいが、ほかの移動手段がなくてできない



# 調査結果（属性）：免許保有・自動車運転・免許返納意向×居住地

居住地別には大きな違いは確認されなかった。

免許保有状況

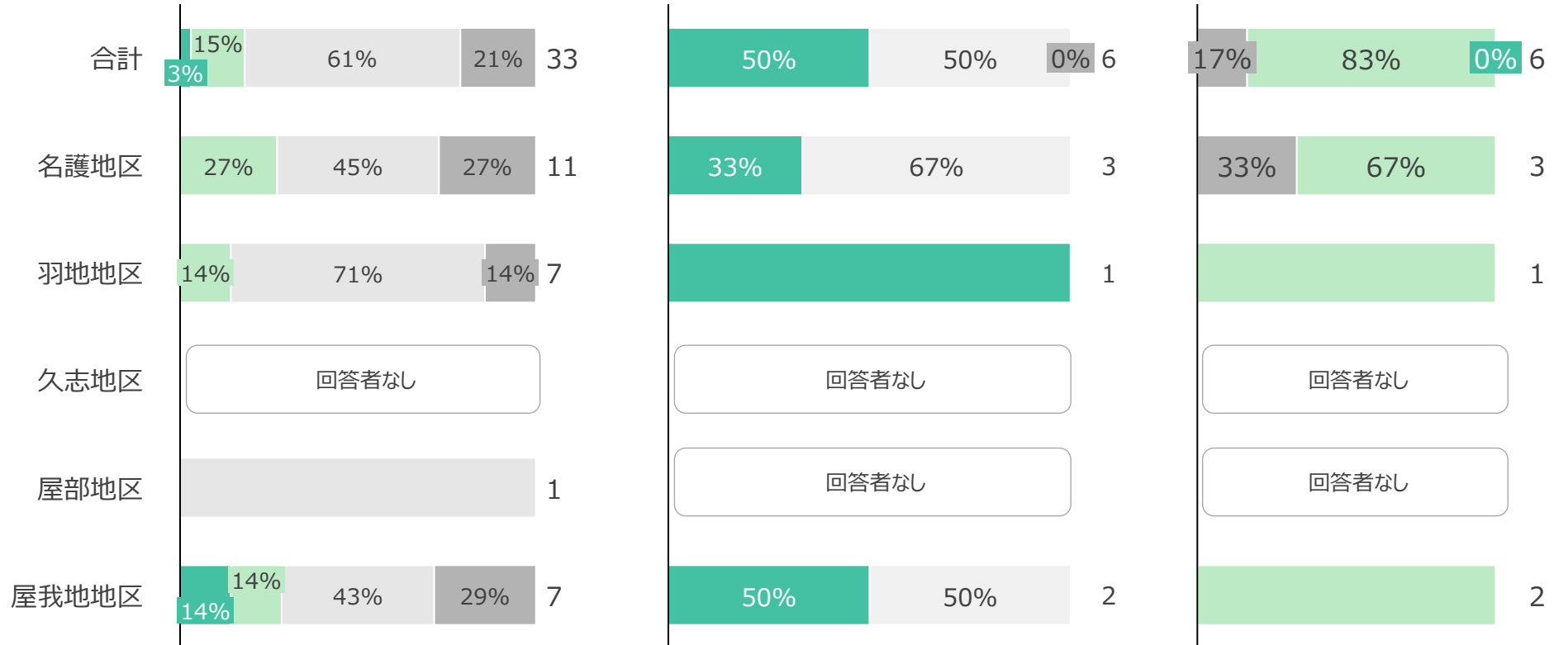
- 持っており普段から運転する
- 持っているがあまり運転しない
- 持っていない
- 持っていたが返納した

自動車の運転状況（免許保有者のみ）

- 問題なく運転できる
- 運転できるが少し不安がある
- 運転できるがかなり不安がある

免許返納意向（免許保有者のみ）

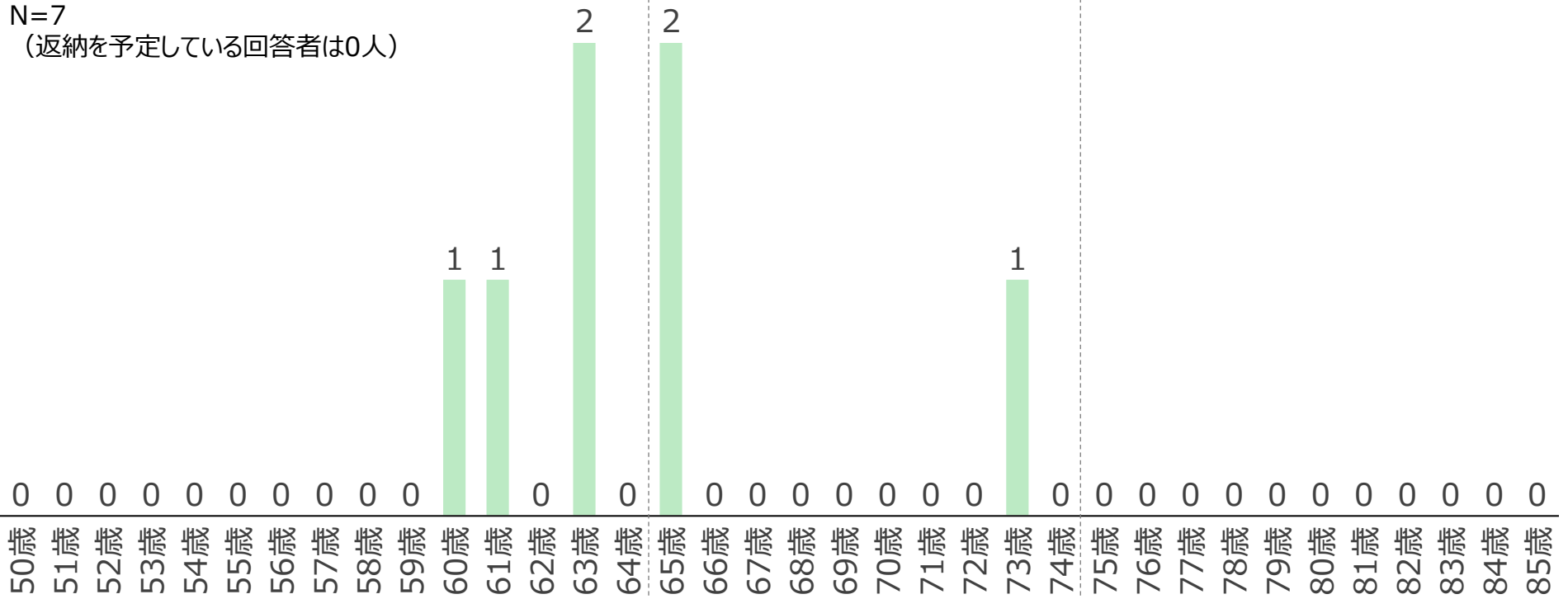
- 返納予定
- 返納する予定はない
- 返納したいが、ほかの移動手段がなくてできない



## 調査結果（属性）：免許返納年齢

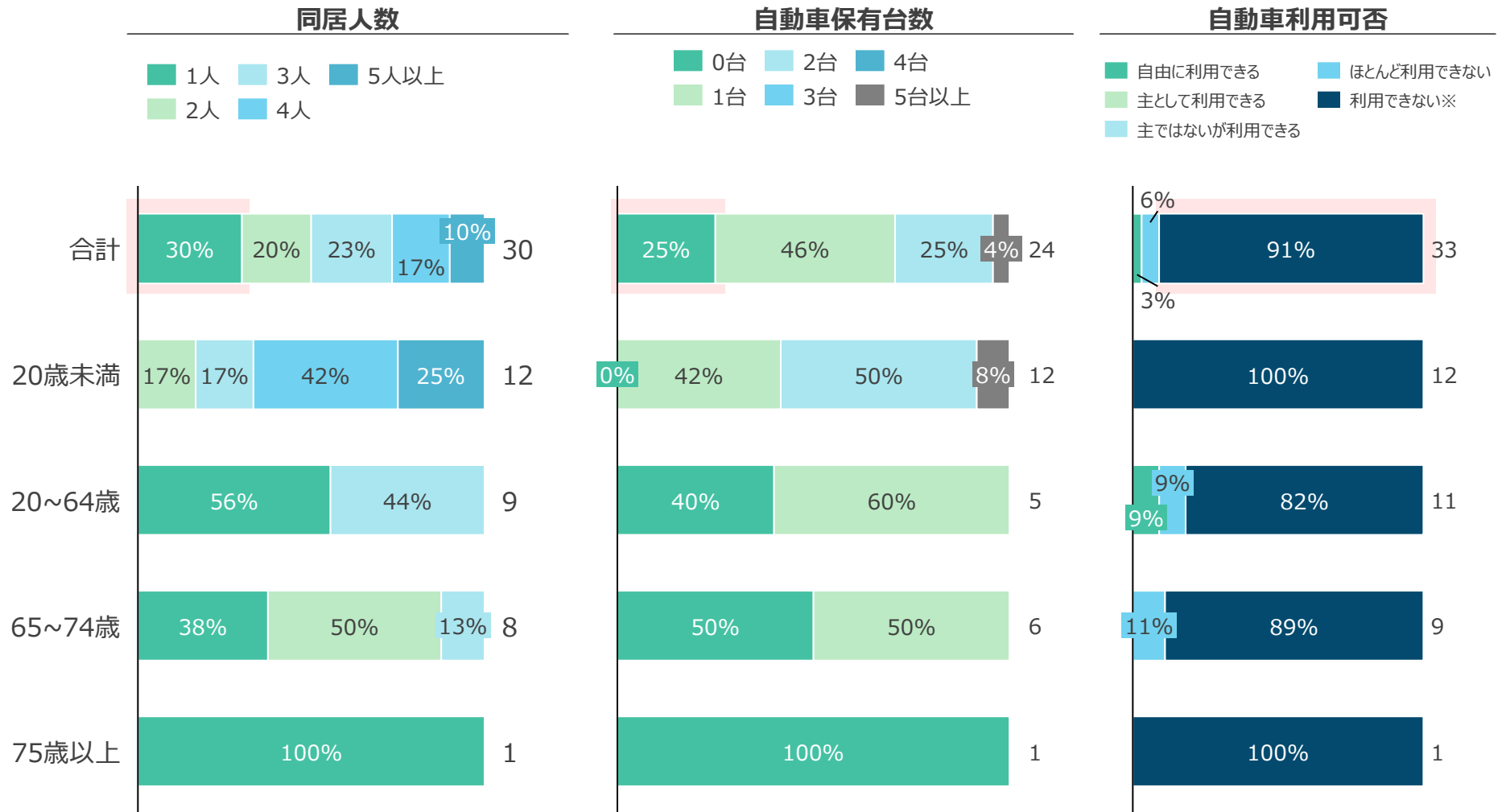
免許を返納している人は60～74歳で返納している傾向。返納を予定している回答者は確認されなかった。

免許返納年齢



## 調査結果（属性）：同居人数・自動車保有台数・自動車利用可否×年代

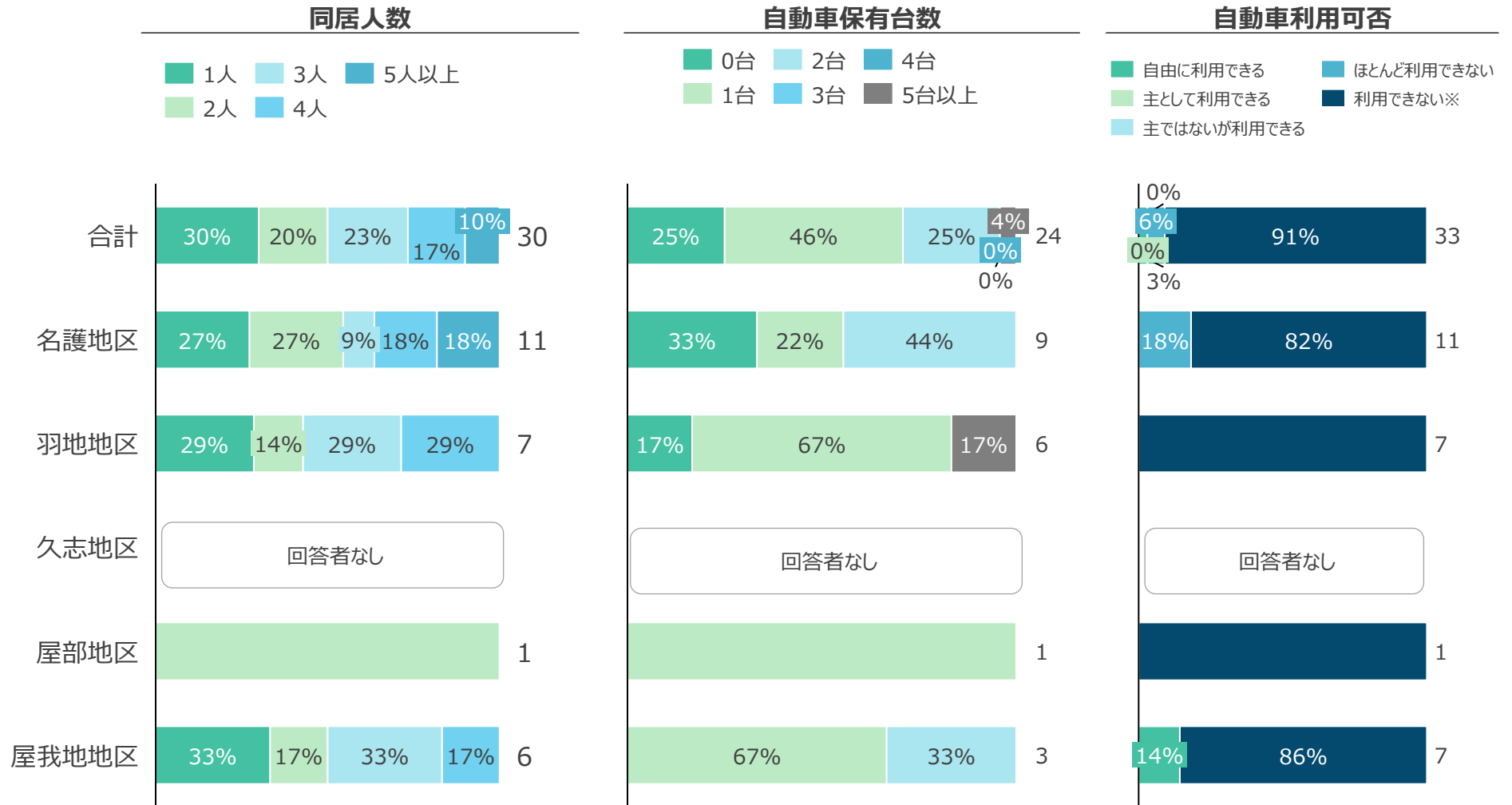
単身世帯が最も多く30%を占める（20～64歳：56%、65～74歳：38%、75歳以上：100%）。**自家用車保有台数は0台**が25%を占める。免許・自動車を保有していないという人を含めて**自動車を利用できない人は91%**を占めている。**学生や単身世帯で家族等の送迎・自家用車による移動ができない人の移動を支えている。**



※「自動車を保有していない」、「免許を持っていない」人を含む

# 調査結果（属性）：同居人数・自動車保有台数・自動車利用可否×居住地

居住地ごとに大きな違いは確認できない。

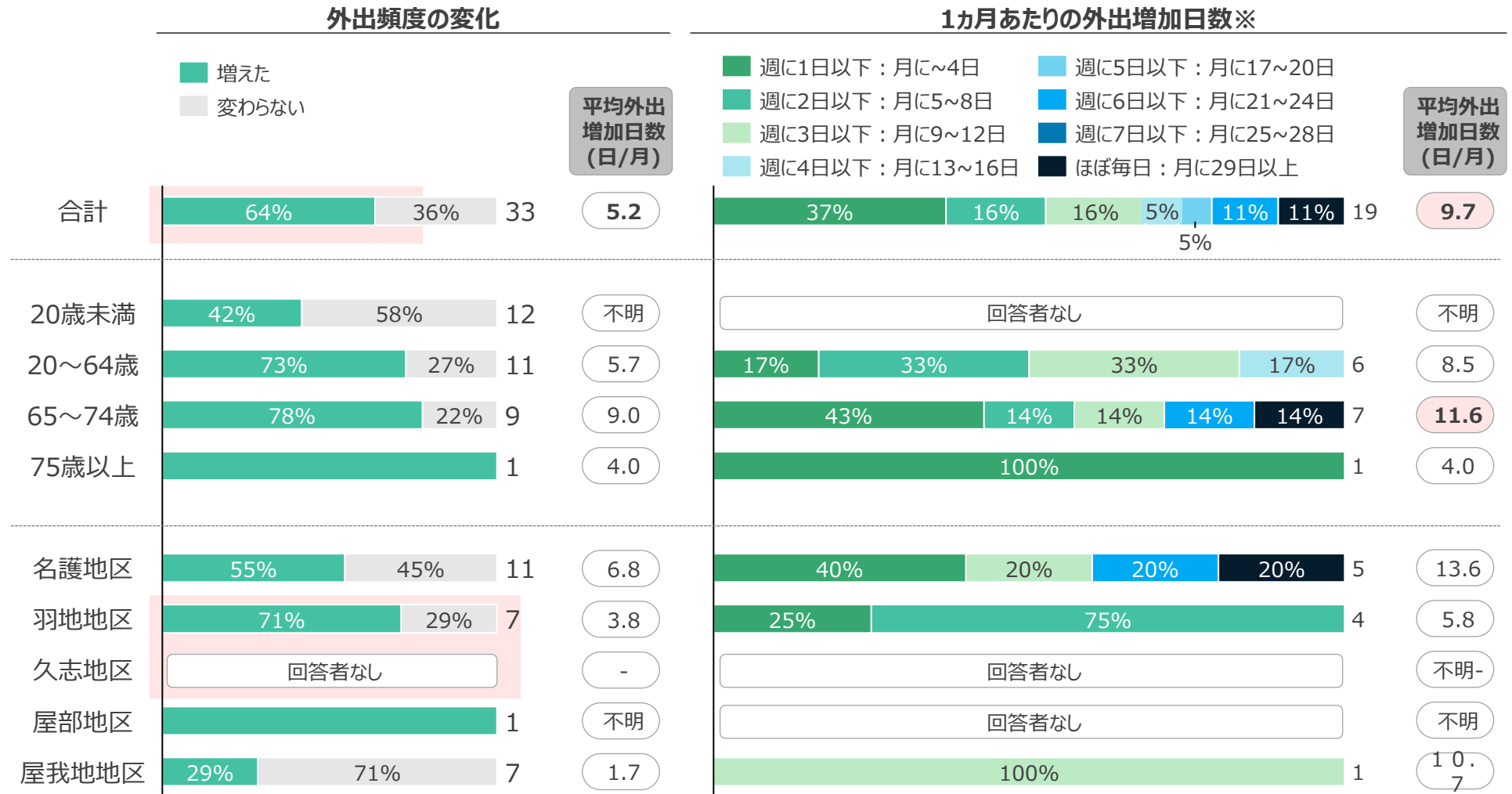


※「自動車を保有していない」、「免許を持っていない」人を含む

# 調査結果（なご丸に関する意見）：外出頻度の変化×年代・居住地

なご丸を利用することで**外出頻度が増えた人は64%**と多く占める。

外出頻度増えた人の**平均増加日数は5.2日/月**で、特に多いのは**65～74歳で9.0日/月**。

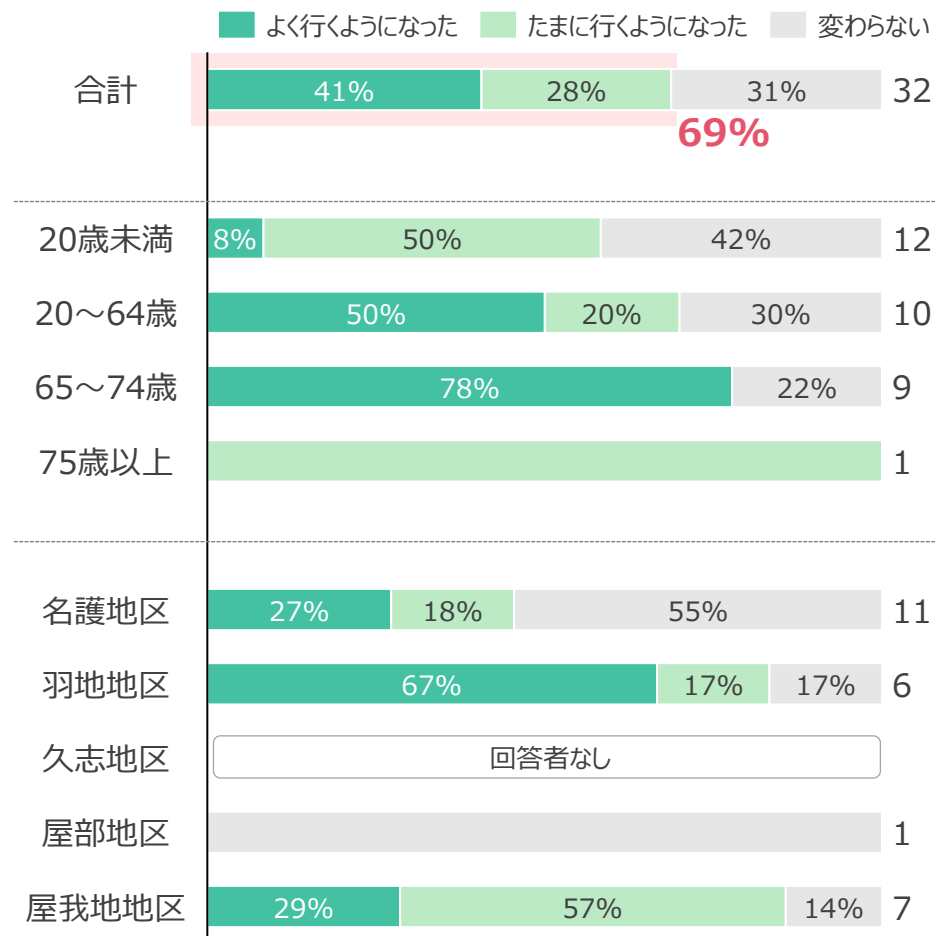


※週に1回以上外出頻度が増えた人の集計結果

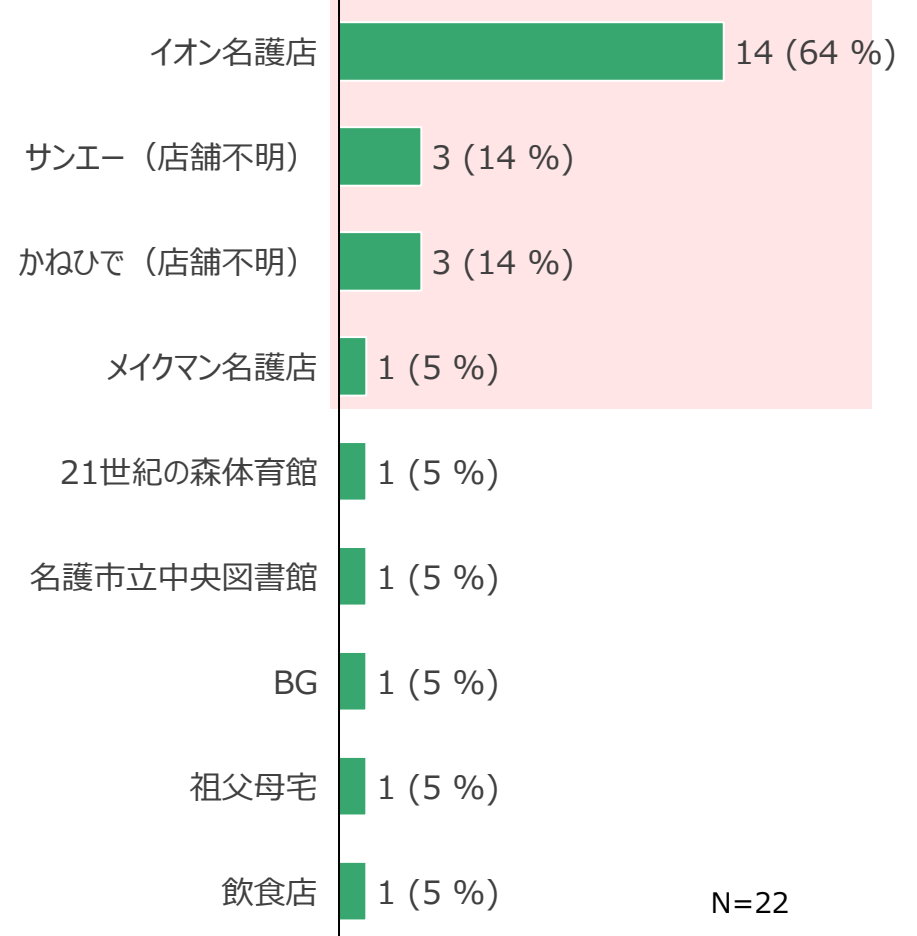
## 調査結果（なご丸に関する意見）：新たな行き先×年代・居住地

なご丸を利用することで**新たな行き先に行くようになった人は69%**と多くを占める。**65～74歳ではよくいくようになったが78%を占める（96%）**  
 新たな行き先の具体的な施設で最も多いのは**イオン名護店**（64%）でその他にも、サンエー、かねひで、メイクマンなどの商業施設が新たな行き先となっている。

新たな行き先



新たな行き先の具体的な施設※



N=22

※新たな行き先に行くようになった人々の集計結果

## 調査結果（なご丸に関する意見）：新たな行き先の具体的な施設×年代・居住地

新たな行き先の具体的な施設を年代別・居住地別にみても最も多いのはイオン名護店。

新たな行き先の具体的な施設×年代・居住地※

施設	合計		20歳未満		20～64歳		65～74歳		75歳以上		名護地区		羽地地区		久志地区		屋部地区		屋我地地区	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
イオン名護店	14	64%	3	43%	3	43%	7	78%	1	100%	4	80%	4	80%	0	-	0	-	3	50%
サンエー（店舗不明）	3	14%	0	0%	2	29%	1	11%	0	0%	2	40%	0	0%	0	-	0	-	0	0%
メイクマン名護店	1	5%	0	0%	0	0%	1	11%	0	0%	1	20%	0	0%	0	-	0	-	0	0%
かねひで（店舗不明）	1	5%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	1	20%	0	0%	0	-	0	-	0	0%
21世紀の森体育館	1	5%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	20%	0	-	0	-	0	0%
名護市立中央図書館	1	5%	0	0%	0	0%	1	11%	0	0%	1	20%	0	0%	0	-	0	-	0	0%
BG	1	5%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	-	1	17%
祖父母宅	1	5%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	1	20%	0	0%	0	-	0	-	0	0%
飲食店	1	5%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	-	1	17%
公園	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	-	1	17%
N	22		7		7		9		1		5		5		0		0		6	-

## 調査結果（なご丸に関する意見）：満足度 ×年代・居住地

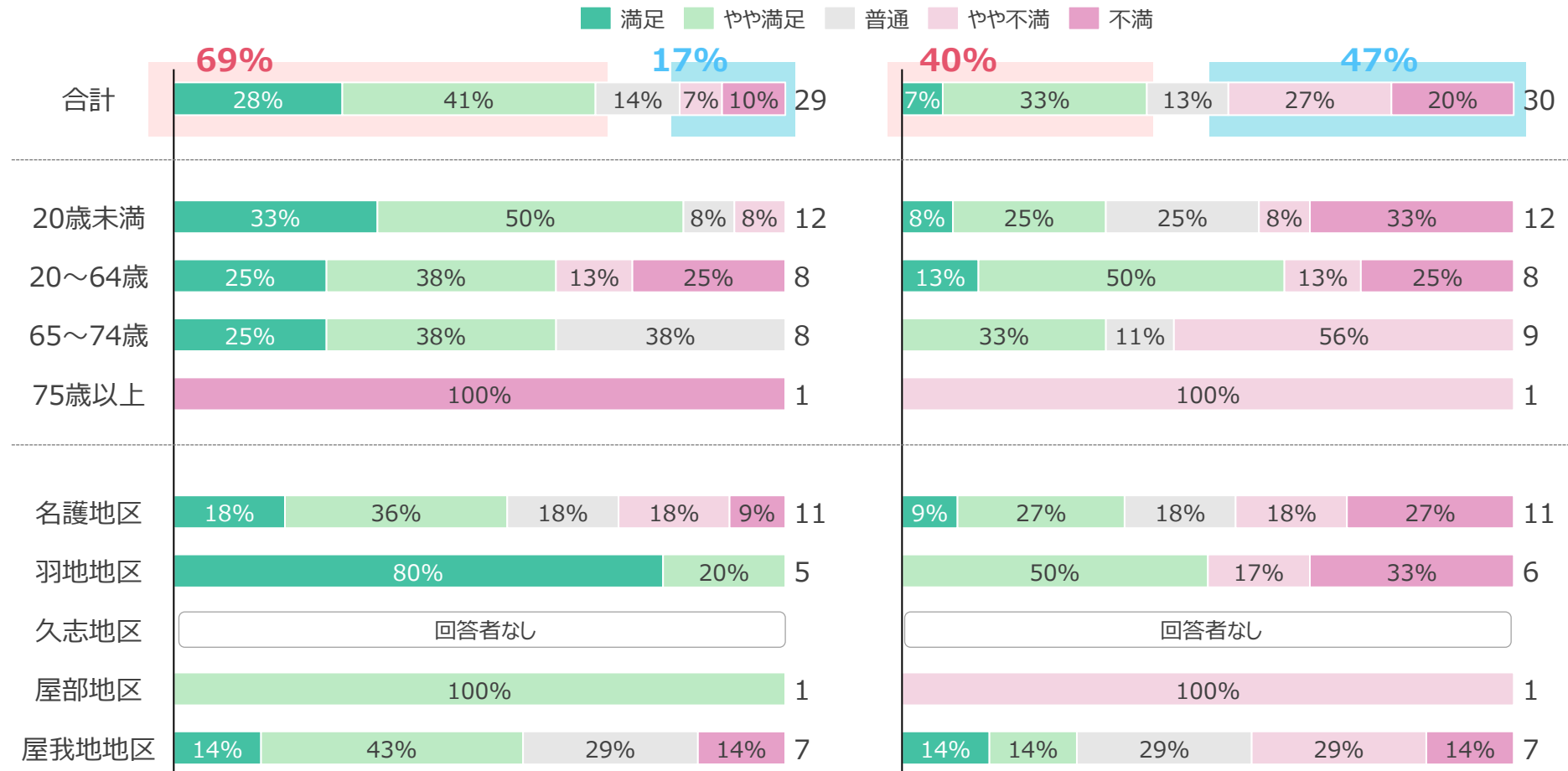
運行ルートについて、満足・やや満足と回答した人は69%、不満・やや不満と回答した人は17%。

運行時間帯について、満足・やや満足と回答した人は40%、不満・やや不満と回答した人は47%。

ルートより時間帯のほうが不満に感じている割合が多い。

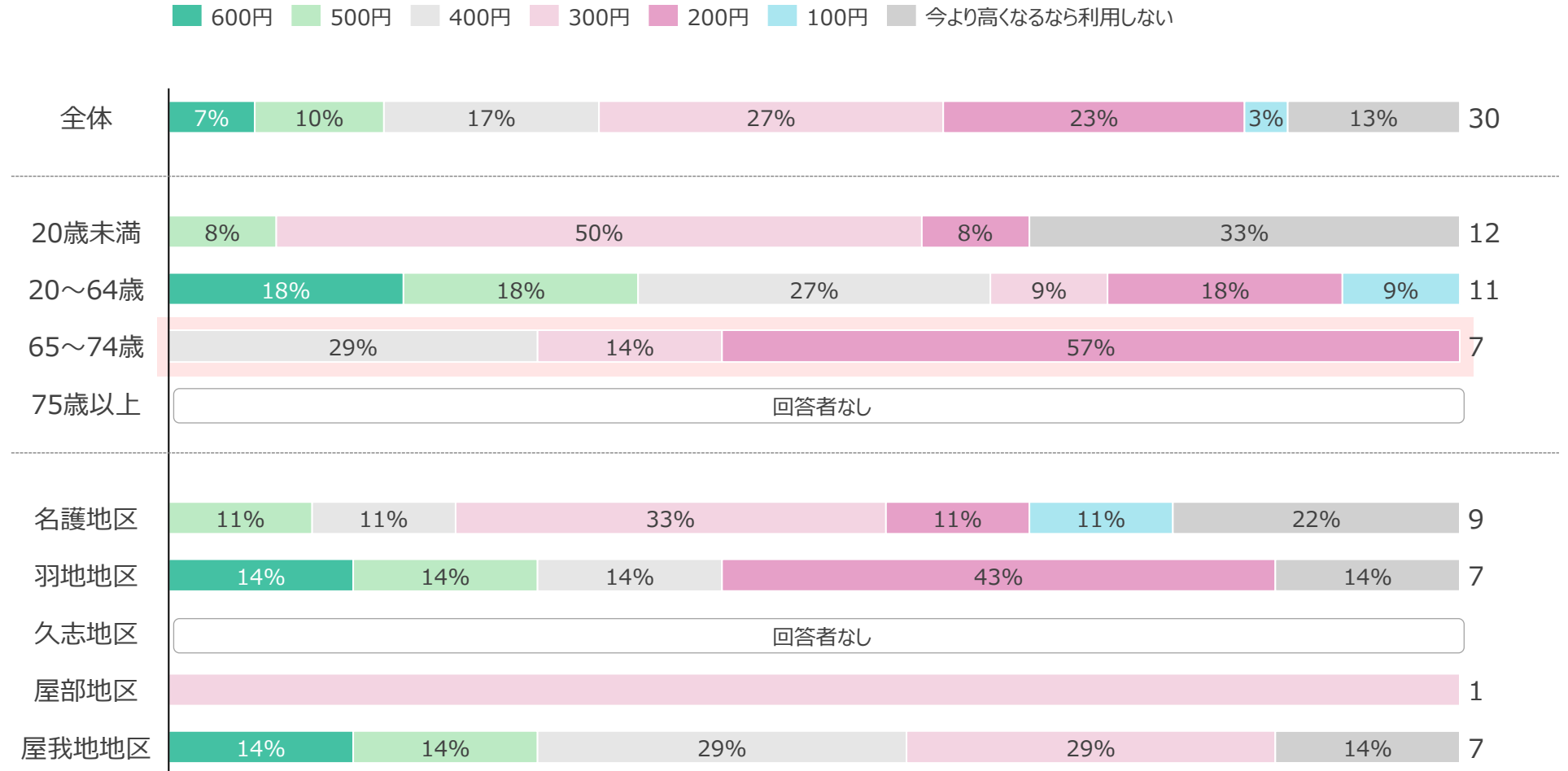
運行ルートの満足度

運行時間帯の満足度



## 調査結果（なご丸に関する意見）：運賃の許容度 ×年代・居住地

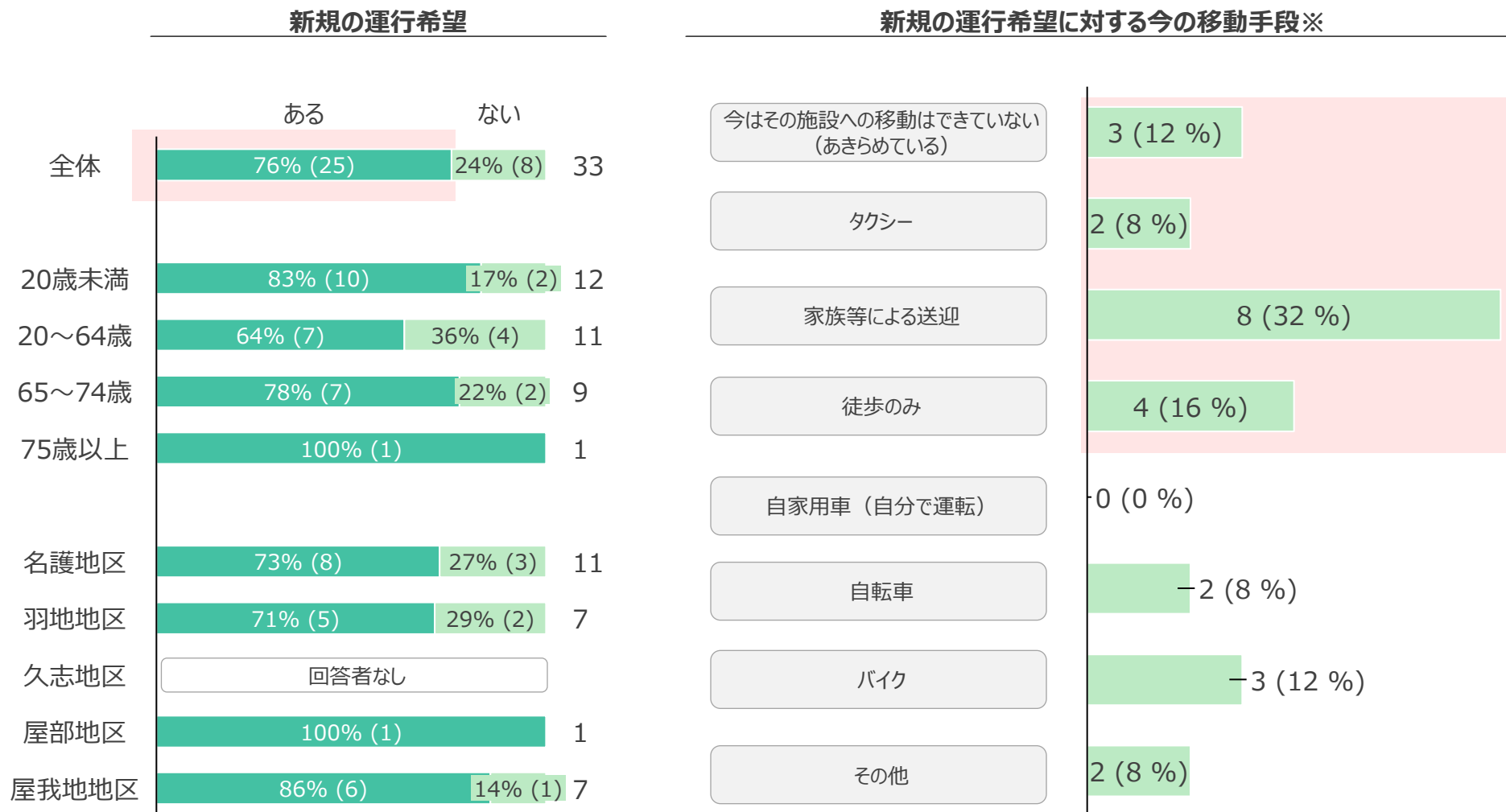
現在無料で利用できる65歳以上のすべての回答者が有料でも利用を継続する意向である。



## 調査結果（なご丸に関する意見）：新規運行ルートや時間帯の希望・今の移動手段

新規の運行ルートや時間帯の希望があるのは利用者の75%を占める。

希望に対する今の移動手段で最も多いのは家族等による送迎で32%。今はその施設への移動ができていない（あきらめている）は16%。



※新規の運行希望がある人の集計結果（複数回答）

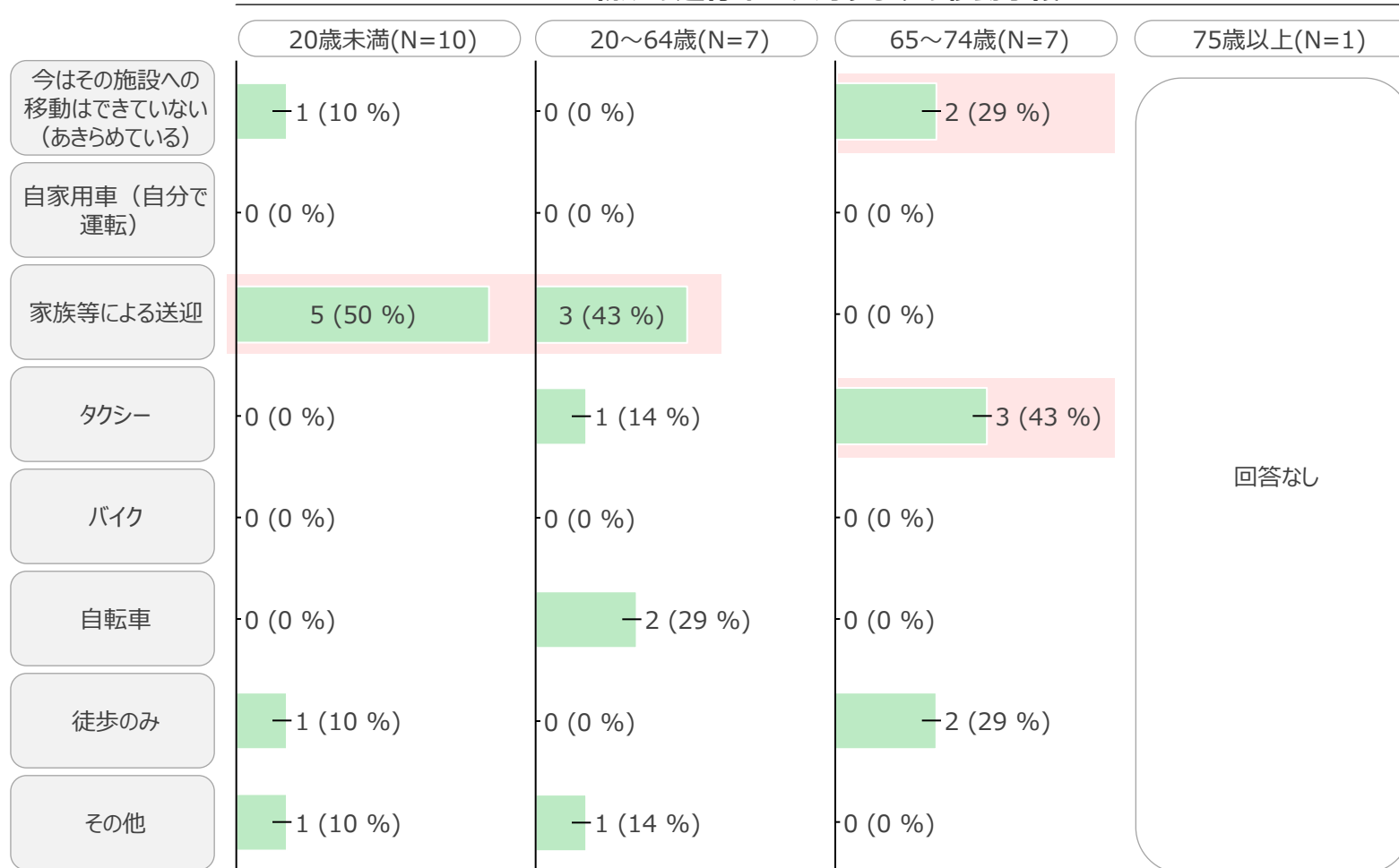
## 調査結果（なご丸に関する意見）：新規希望に対する今の移動手段×年代

20歳未満は家族等による送迎が今の移動手段に対する希望が多い。

20～64歳は家族等による送迎が今の移動手段に対する希望が多い。

65～74歳は今はその施設への移動ができていない、タクシーが今の移動手段に対する希望が多い。

新規の運行希望に対する今の移動手段

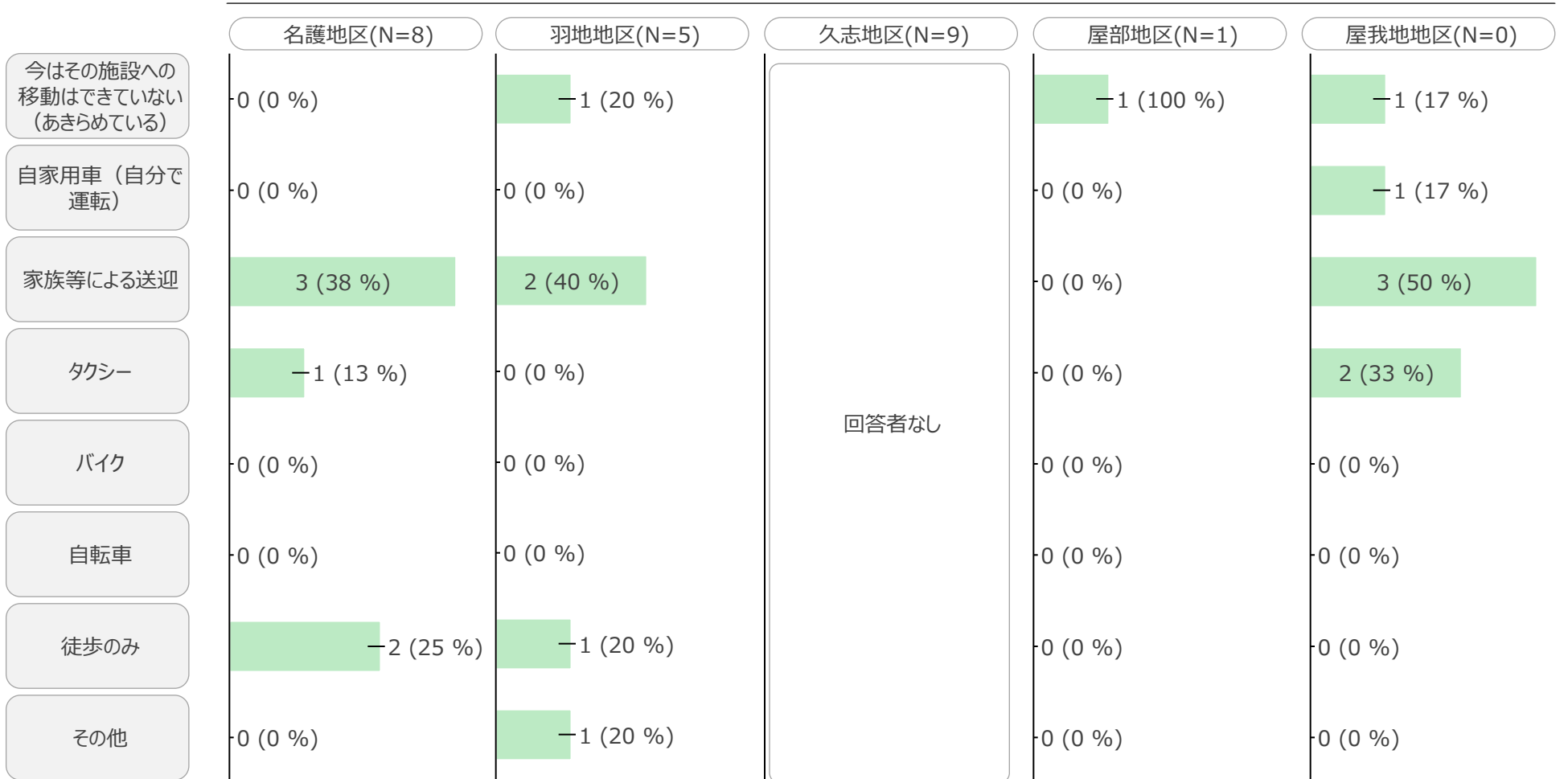


※新規の運行希望がある人の集計結果

# 調査結果（なご丸に関する意見）：新規希望に対する今の移動手段×居住地

地区別で大きな違いは確認されない

新規の運行希望に対する今の移動手段



※新規の運行希望がある人の集計結果

## 調査結果（なご丸に関する意見）：新規希望の出発地

新規に運行希望するルートの出発地は**自宅が64%**を占めている。

自宅以外だと**名護バスターミナル**が複数の回答者があり、合わせて72%を占める。

## 新規の運行希望（出発地）

	全体		20歳未満		20～64歳		65～74歳		75歳以上		名護地区		羽地地区		久志地区		屋部地区		屋我地地区	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
自宅	16	64%	6	60%	4	57%	5	71%	1	100%	5	63%	4	80%	0	-	0	0%	4	67%
名護バスターミナル	2	8%	0	0%	2	29%	0	0%	0	0%	1	13%	0	0%	0	-	0	0%	1	17%
饒平名	1	4%	0	0%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	1	17%
羽地	1	4%	1	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	1	100%	0	0%
我部	1	4%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
名護高校	1	4%	1	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
学校	1	4%	1	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	20%	0	-	0	0%	0	0%
市内	1	4%	1	10%	0	0%	0	0%	0	0%	1	13%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
不明	1	4%	0	0%	0	0%	1	14%	0	0%	1	13%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
対象	25		10		7		7		1		8		5		0		1		6	-

## 調査結果（なご丸に関する意見）：新規希望の目的地

新規に運行を希望するルートで最も多いの屋我地ひるぎ学園で22%を占める。

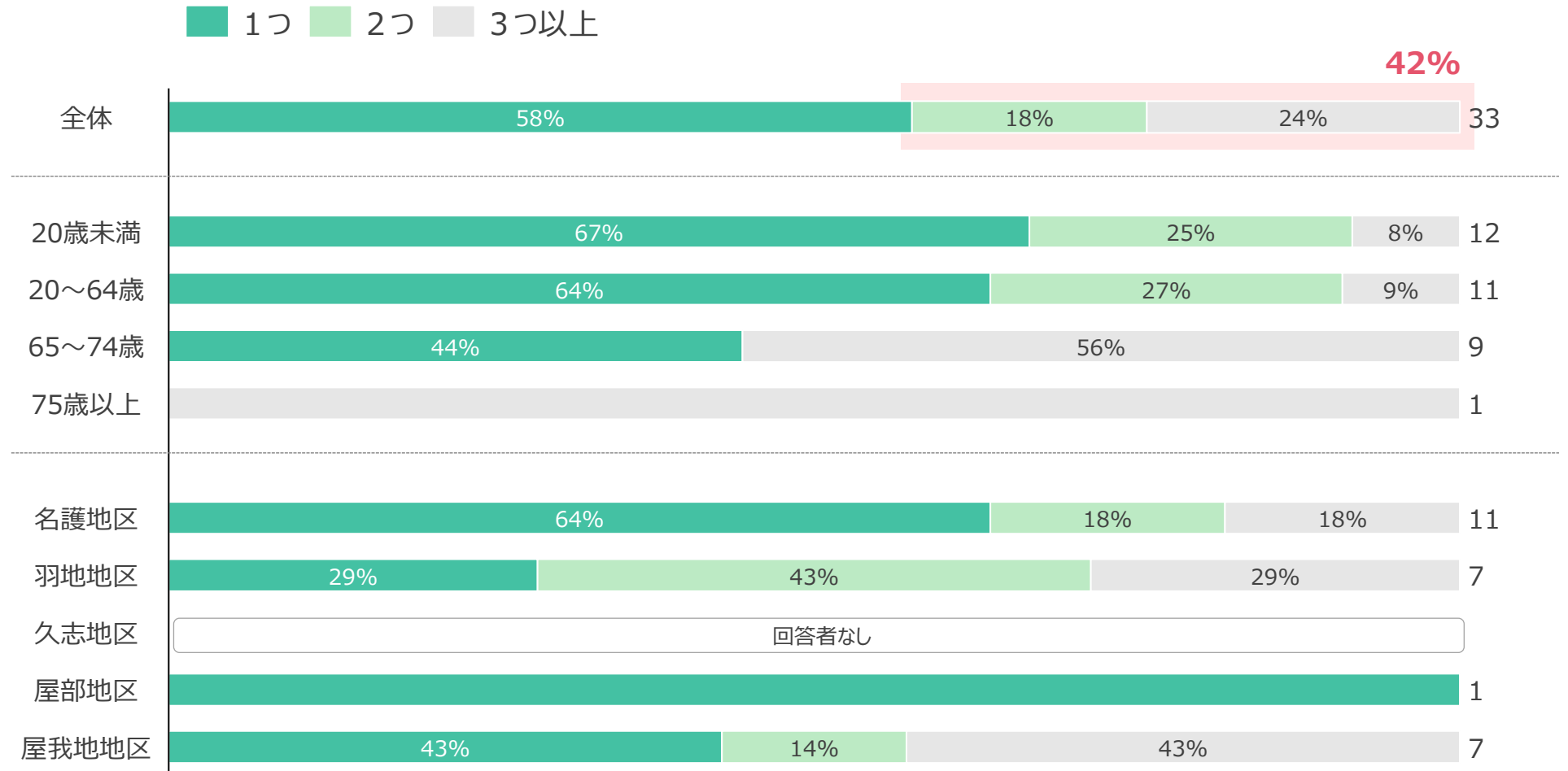
その他にはイオン名護店、北部地区医師会病院、サンエー、マックスバリュ、メイクマンなどがあげられている。

### 新規の運行希望（目的地）

	合計		20歳未満		20～64歳		65～74歳		75歳以上		名護地区		羽地地区		久志地区		屋部地区		屋我地地区	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
屋我地ひるぎ学園	4	22%	3	30%	1	14%	0	0%	0	0%	2	25%	1	20%	1	-	0	0%	1	17%
イオン名護店	3	15%	1	10%	2	29%	0	0%	0	0%	1	13%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
北部地区医師会病院	2	6%	1	10%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	1	20%	1	-	1	100%	0	0%
サンエー（店舗不明）	1	6%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
マックスバリュなご店	1	6%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	1	13%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
メイクマン	1	4%	0	0%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	1	17%
北部農林高等学校	1	4%	1	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	20%	1	-	0	0%	0	0%
名桜ボウル	1	4%	1	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	1	17%
あけみおskyドーム	1	3%	1	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	1	17%
SpoRC	1	2%	1	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	1	17%
21世紀公園	1	2%	1	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	1	17%
古宇利の駅ソラハシ	1	2%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	1	13%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
パイナップルパーク	1	2%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	1	13%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
北部病院	1	2%	0	0%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
うりずん診療所	1	2%	0	0%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	1	17%
歯医者	1	2%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	1	20%	1	-	0	0%	0	0%
元気ステーションねむの木	1	2%	0	0%	0	0%	1	14%	0	0%	1	13%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
国立療養所沖縄愛楽園	1	2%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	0	0%	1	20%	1	-	0	0%	0	0%
市内	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
為又	1	1%	0	0%	0	0%	1	14%	0	0%	0	0%	1	20%	1	-	0	0%	0	0%
真喜屋	1	1%	0	0%	0	0%	1	14%	0	0%	1	13%	0	0%	0	-	0	0%	0	0%
対象	25		10		7		7		1		8		5		0		1		6	-

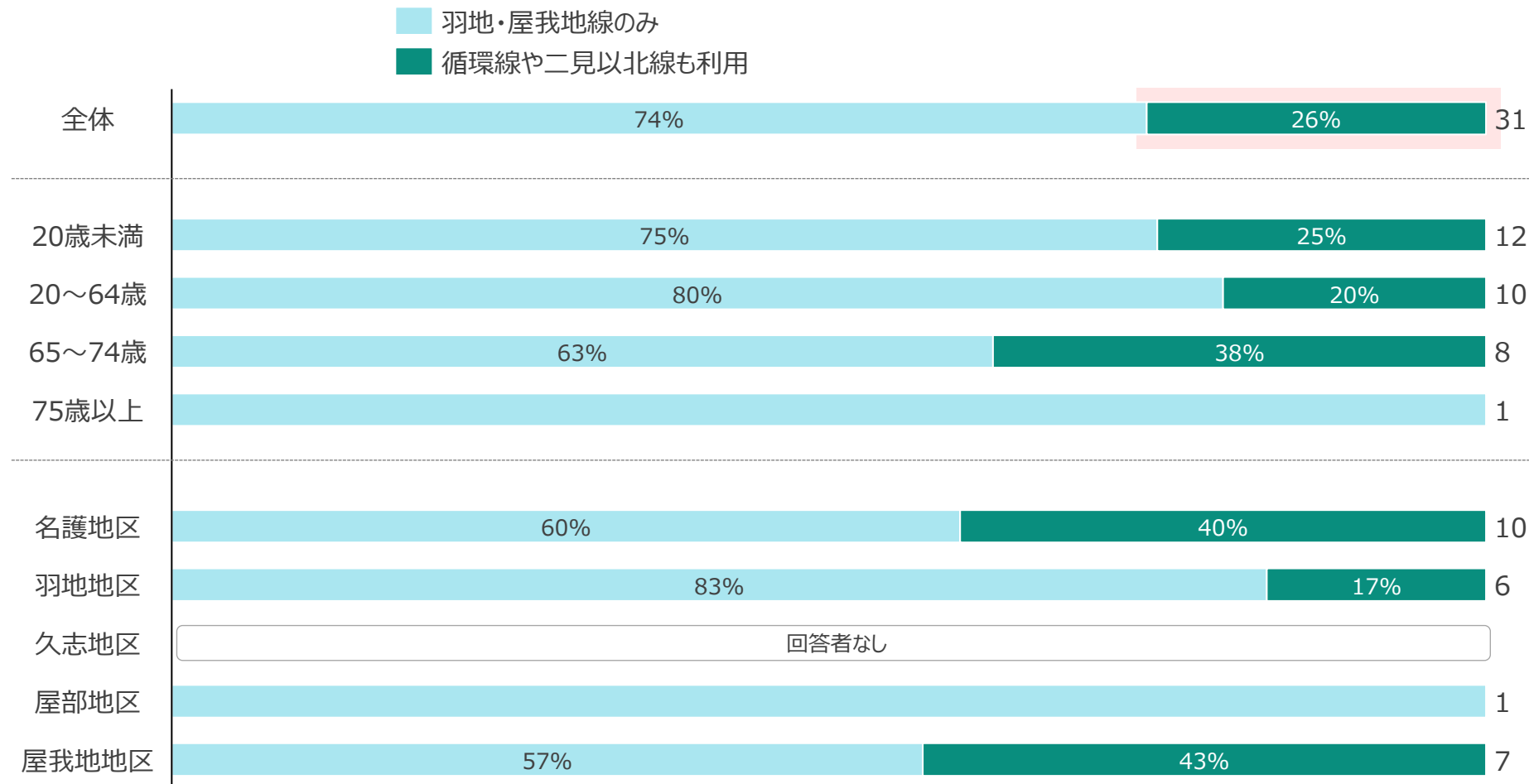
## 調査結果（なご丸利用実態）：なご丸を利用した移動パターン数 ×年代・居住地

本アンケートでは、なご丸（羽地・屋我地線）利用者に対してなご丸を利用した移動パターン（移動先や目的）を最大3つまで回答してもらった。  
**移動パターン（移動先や目的）が2つもしくは3つ以上の人は42%**を占めており、**複数の移動先にも利用されている**ことが分かる。



## 調査結果（なご丸利用実態）：利用路線 ×年代・居住地

回答者が利用している路線を見ると、羽地・屋我地線だけでなく循環線や二見以北線も利用している人は26%を占めており、羽地・屋我地線の運行は羽地・屋我地地区居住者だけに限らず他の路線も組み合わせて利用されており、市街地の利便性が向上していることが分かる。



## 調査結果（なご丸利用実態）：利用目的×年代

目的別の利用回数の中で最も多いのは通勤・通学で63%を占める（20歳未満：88%、20～64歳：56%、65～74歳：50%）。

次いで多いのは買い物（日用品）で22%を占める（20～64歳：39%、65～74歳：29%、75歳以上：33%）。

全世代通して通院のための利用はなされていない状況である。平均利用回数は全体で15.5回/月・人である。

	目的別利用回数（回/月）									
	全体		20歳未満		20～64歳		65～74歳		75歳以上	
	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）
通勤・通学	63%	322	88%	148	56%	74	50%	100	0%	0
買い物（日用品）	22%	113	0%	0	39%	52	29%	57	33%	4
買い物（日用品以外）	5%	24	0%	0	3%	4	8%	16	33%	4
通院	2%	10	0%	0	0%	10	5%	0	0%	0
娯楽（外食・遊び等）	2%	10	5%	8	2%	2	0%	0	0%	0
公共施設等への来訪	3%	13	0%	0	0%	0	7%	13	0%	0
観光	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
その他	4%	19	7%	12	0%	0	2%	3	33%	4
合計（回/月）	511		168		132		199		12	
回答者数	33		12		11		9		1	
平均利用回数（回/月・人）	15.5		14.0		12.0		22.1		12.0	

## 調査結果（なご丸利用実態）：利用目的×居住地

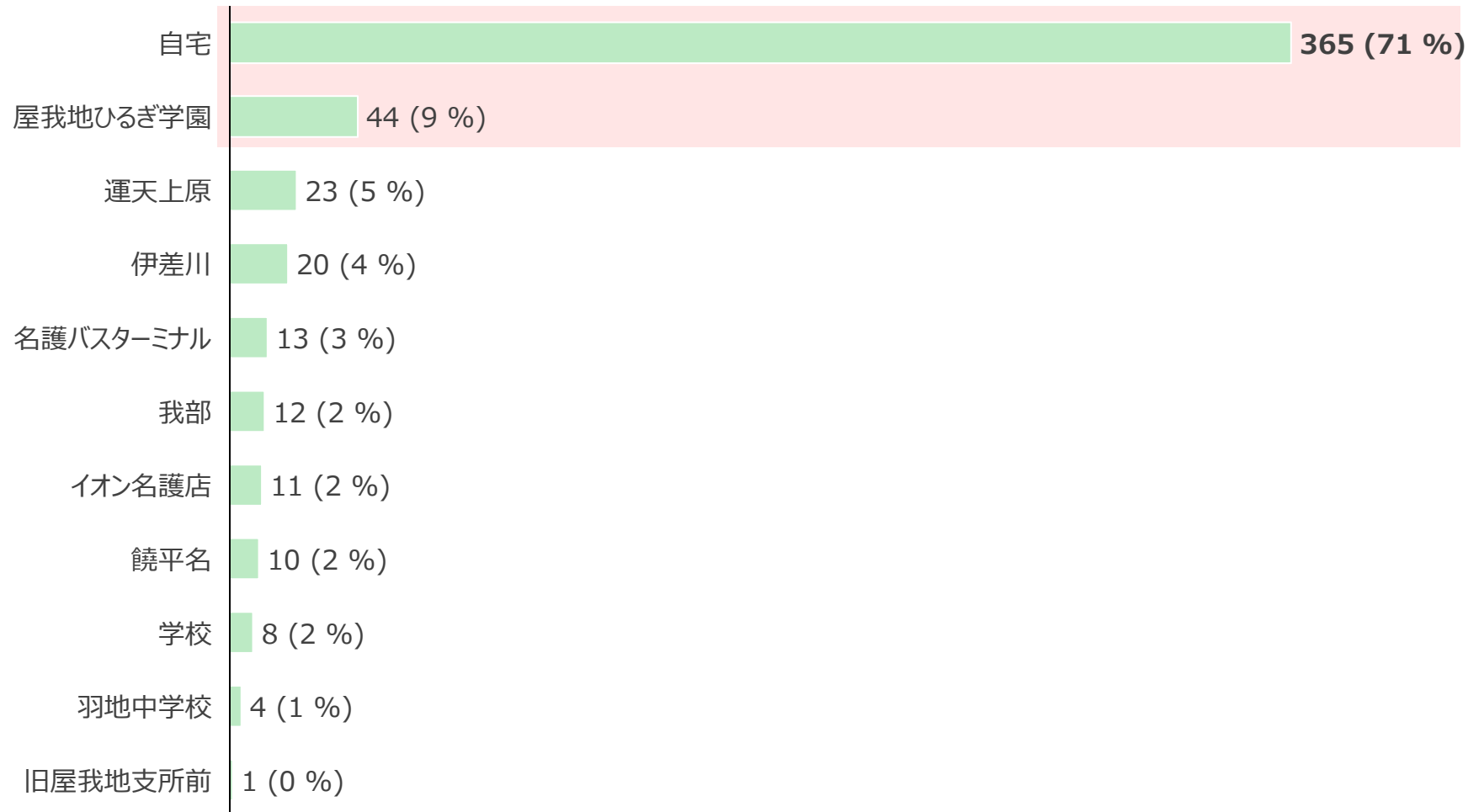
地区別に大きな違いは見られない。

	目的別利用回数（回/月）									
	全体		名護地区		羽地地区		屋部地区		屋我地地区	
	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）
通勤・通学	63 %	322	78 %	136	60 %	59	100 %	4	60 %	100
買い物（日用品）	-22 %	113	-14 %	24	-14 %	14	0 %	0	-26 %	44
買い物（日用品以外）	-5 %	24	0 %	0	-20 %	20	0 %	0	0 %	0
通院	-2 %	10	0 %	0	-2 %	2	0 %	0	-5 %	8
娯楽（外食・遊び等）	-2 %	10	-2 %	3	-4 %	4	0 %	0	-2 %	3
公共施設等への来訪	-3 %	13	-5 %	8	0 %	0	0 %	0	0 %	0
観光	0 %	0	0 %	0	0 %	0	0 %	0	0 %	0
その他	-4 %	19	-2 %	3	0 %	0	0 %	0	-7 %	12
合計（回/月）		511		174		99		4		167
回答者数		33		11		7		1		7
平均移動回数（回/月・人）		15.5		15.8		14.1		4.0		23.9

## 調査結果（なご丸利用実態）：なご丸を利用した移動の出発施設

なご名を利用した移動の**出発施設は自宅が71%**を超えており、次いで**屋我地ひるぎ学園が多く9%**を占める。

出発施設別利用回数（回/月）



## 調査結果（なご丸利用実態）：なご丸を利用した移動の目的施設

同じバス停を利用していてもある程度目的施設は分散していることが分かる。例えばイオンバス停ではイオン名護店だけでなく周辺の診療所などに向かうため利用（屋我地ひるぎ学園前）バス停を利用する小学生・中学年から利用状況を見ると、登下校ともに利用している人は2人で、下校時のみ利用している人は2人であった。また、全ての回答者がなご丸運行前の登下校の手段は家族等の送迎であった。

目的地付近利用バス停別の目的施設および人数（人）

バス停	目的施設	人数	バス停	目的施設	人数
イオン	イオン名護店	20	第二伊差川	みらいぱいなっぐる保育園	1
	診療所	2		伊差川公園	1
	イオン周辺	1	大北二区	サンエー いさがわ食品館	1
名護バスターミナル	名護バスターミナル	5		ひがし食堂	1
	飲食店	1	名護高校	2	
	元気ステーションねむの木	1	山田入口	不明	1
	自宅	1	饒平名（屋我地ひるぎ学園前）	屋我地ひるぎ学園	1
	職場	1	名護市観光情報センター	祖父母宅	1
伊差川入口	サンエー いさがわ食品館	1	仲尾次	自宅	1
	不明	2	旧屋我地支所前	自宅	1
伊差川	自宅	2			
	不明	1			

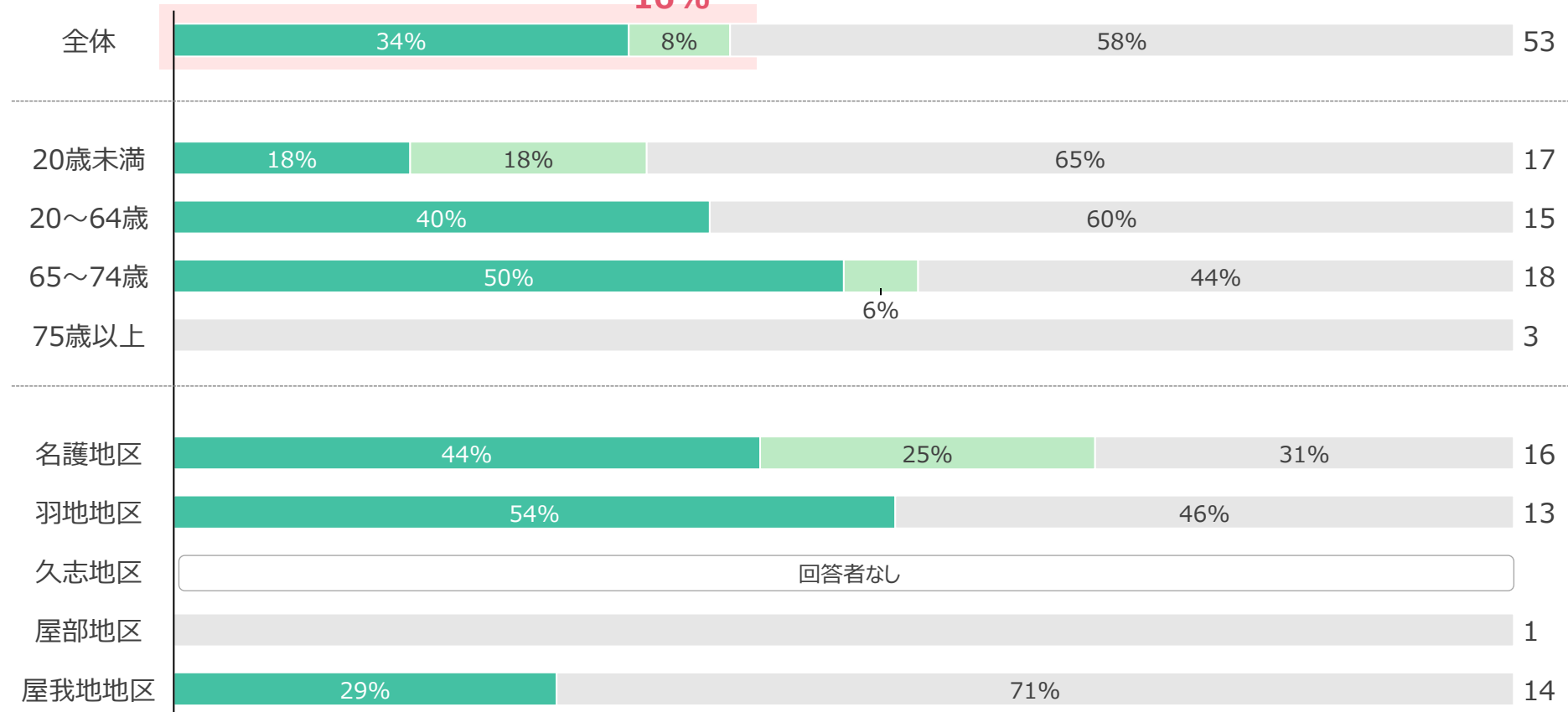
## 調査結果（なご丸利用実態）：なご丸の片道利用状況 ×年代・居住地

なご丸を利用した移動の**16%は片道利用**であり、もう片方は別の手段で移動をするという使われ方がされている。

利用方法別の利用回数（回／月）

■ 行きのみ ■ 帰りのみ ■ 往復利用

**16%**



# 調査結果（なご丸利用実態）：片道利用時のもう片方の移動手段×年代

なご丸を片道利用しているもう片方の移動は特に送迎が多く49%を占め、送迎負担の軽減に寄与している。

65～74歳はタクシーが多く64%を占める。

片道がタクシーの移動の元の移動手段を見るとタクシーだった人は0人/2人（1人は路線バス、1人は自家用車（自分で運転）→免許返納）

	片道利用時のもう片方の移動手段の利用回数（回/月）									
	全体		20歳未満		20～64歳		65～74歳		75歳以上	
	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）
家族等による送迎	49 %	101	95 %	55	28 %	21	33 %	25	回答者なし	
路線バス	10 %	20	0 %	0	27 %	20	0 %	0		
送迎バス	0 %	0	0 %	0	0 %	0	0 %	0		
タクシー	16 %	33	0 %	0	45 %	33	0 %	0		
徒歩のみ	26 %	54	5 %	3	0 %	0	67 %	51		
その他	0 %	0	0 %	0	0 %	0	0 %	0		
合計（回/月）	208		58		74		76			
片道利用パターン数	21		6		6		9		-	
平均利用回数（回/月）	9.9		9.7		12.3		8.4		-	

片道タクシー利用者2人のなご丸運行前の移動手段：  
 ・ 1人は路線バス（運天原⇒名護バスターミナル）  
 ・ 1人は自家用車（自分で運転）：免許返納

## 調査結果（なご丸利用実態）：なご丸運行前の移動手段

なご丸運行前の元の手段は路線バスが多く、移動全体の30%を占め、次いで家族等による送迎が25%。

路線バスからの転換の96%は屋我地地区～名護地区であり、なご丸羽地・屋我地線運行前に運行されていた72系統からの転換と想定される。タクシーからの転換者は確認されなかった。

### 路線バスからの転換内訳：

- ・96%は屋我地地区～名護地区の移動
- ・4%は羽地地区～名護地区の移動

	なご丸運行前の移動手段の利用回数（回/月）									
	全体		20歳未満		20～64歳		65～74歳		75歳以上	
	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）	総移動回数に占める割合	移動回数（回/月）
運行前はこの移動はしていなかった	1%	7	0%	0	5%	7	0%	0	0%	0
自家用車（自分で運転）	9%	42	7%	10	24%	32	0%	0	0%	0
家族等による送迎	25%	120	68%	99	8%	10	2%	3	67%	8
路線バス	30%	145	1%	2	23%	30	57%	113	0%	0
送迎バス	0%	1	1%	1	0%	0	0%	0	0%	0
タクシー	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
バイク・原付	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
自転車	6%	27	0%	0	20%	27	0%	0	0%	0
徒歩のみ	21%	104	23%	33	20%	26	23%	45	0%	0
その他	9%	42	0%	0	0%	0	19%	38	33%	4
合計	488		145		132		199		12	
移動パターン数	51		15		15		18		3	

## 調査結果（なご丸利用実態）：屋我地ひるぎ学園の登下校利用

饒平名（屋我地ひるぎ学園前）バス停を利用する小学生・中学生6人の利用状況を見ると、**登下校ともに利用している人は2人で、下校時のみ利用している人は2人**であった。**下校時のみ利用している人は家族等の送迎で登校**している。

また、全ての回答者が**なご丸運行前の登下校の手段は家族等の送迎**であった。

饒平名（屋我地ひるぎ学園前）バス停を利用する小学生・中学生の利用状況

	属性	居住地	利用バス停の組み合わせ	利用頻度 (日/月)	登校		下校		なご丸運行 前の移動手 段	
					なご丸利用有無	時間帯	なご丸利用有無	時間帯		
1	小学生	饒平名	饒平名 (屋我地ひる ぎ学園前)	第二伊差川	12	なし (家族等の送迎)	-	あり	16時台	家族等の 送迎
2	中学生	宮里		伊差川	12	なし (家族等の送迎)	-	あり	16時台	
3	小学生	為又		イオン	10	なし (家族等の送迎)	-	あり	16時台	
4	中学生	大中		伊差川	20	なし (家族等の送迎)	-	あり	16時台	
5	小学生	大北		伊差川	20	あり	7時台	あり	16時台	
6	中学生	仲尾次		仲尾次	8	あり	7時台	あり	16時台	

# 調査結果（なご丸利用実態）：路線バス・タクシーからの転換者の外出頻度

路線バス・タクシーからの転換者も外出頻度自体が増加している人が56%を占め、増加していない人も含め**3.0日/月**増加している状況。

## 外出頻度の変化

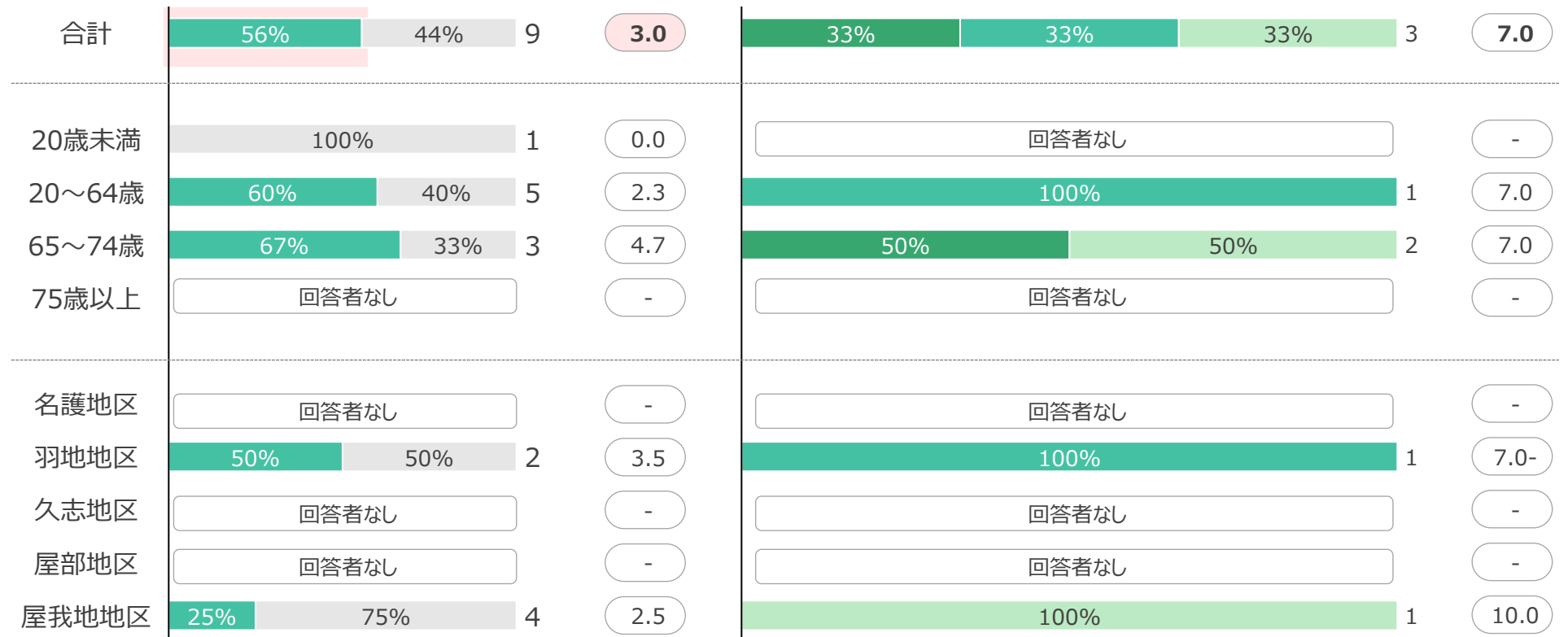
■ 増えた  
■ 変わらない

平均外出  
増加日数  
(日/月)

## 1ヵ月あたりの外出増加日数※

■ 週に1日以下：月に~4日    ■ 週に3日以下：月に9~12日  
■ 週に2日以下：月に5~8日

平均外出  
増加日数  
(日/月)



## 調査結果（なご丸が自分にとって使いやすくなるための改善希望 1 / 2）

なご丸が自分にとって使いやすくなるための改善希望の意見では「便数や運行時間帯に関する意見（14件）」、「なご丸の運行ルートに関する意見（6件）」、「その他（2件）」の意見があげられた。

（内：回答者ID、居住地、年代）

### 便数や運行時間帯 に関する意見

（14件）

- ・母の介護で週一でコミュニティバス（なご丸）を利用しています。とても、ありがたいのですが、行くときは、ちょうどいい時間帯にありますが**帰りの時間がちょっと合わないので徒歩で帰る日が多々あります。**（id1,大北,65-74歳）
- ・**4時（16時）のバスを増やしてほしい** 仕事が終わるのが2時（14時）ギリギリなので乗れず次の6時（18時）まで待たないといけないうでもう1便増やしてくれると助かります（id2,屋我地,65-74歳）
- ・**16時の便を増やしてほしい** 仕事帰り18時まで待たないといけないうので4時間あくので不便です（id3,屋我地,65-74歳）
- ・あえて言うならば**朝と午後の運行を一便でも増え**るとありがたいです。（id10,伊差川,65-74歳）
- ・時間帯が**病院に行ける時間がない**ので、こまっています（昼から）（id12,NA,65-74歳）
- ・屋我地からイオンに行ってから、帰りに使える便が1日に2便しかない。**羽地の駅などで別の路線に乗換えても良いので、屋我地島から市街地に行くことのできる便数を増やしてほしい。**（id15,居住地不明,50代）
- ・仕事帰りも利用したいので**ターミナル行き20：00台**も増やしてほしい（id18,大北,50代）
- ・名護BT近くに引っ越す予定。名護BT発のバスで、朝8時に饒平名の学校に行きたい。通学する子どもを乗せたいが、**6:45出発だと、冬季は暗くて乗せられない。**また、路線バスでは直接饒平名に行けたのに、コミュニティバスになってから運天原へ遠回りして直接、饒平名に行けなくなり、乗車時間が50分近くかかるようになった。せめて、名護BT出発時刻を30分遅らせて、明るい時間（7時15分ごろ）にしてほしい。「バスの運転手が足りない」「屋我地の高校生を乗せるため、7:25に運天原を出ないといけないうなら、一人の運転手で名護BTと運天原を往復するのではなく、別の路線から運転手を持ってきてでも二人の運転手で対応してほしい。」（id20,済井出,50代）
- ・バスターミナルから屋我地に向かう便を増やして欲しい。**部活などで帰りが遅くなるとき18時の便に乗れない**（id22,済井出,10代）
- ・**通学のサポート**として大いに使えるよう、その時間帯の増便をお願いしたい。（id23,宮里,10代）
- ・平日の朝が7時の早い便なので起きれずバスを逃してしまう為、学校に間に合うような時間で**もう少し遅い時間**の設定だと、かなり利用しやすいです。朝の一便は通勤、通学重視で遅めの時間に設定して大回りではなく学校に最短距離で着くようにして頂ければとても助かります帰日も学校側が特日課で早く**下校する時は早めに**便を出して頂けると1時間以上待たなくても乗れると思います（id29,大北,10代）
- ・帰りに使える最終なご丸が20時9分までのものしかないので、**21時30分など遅めの時間帯**もあると助かります。名護イオンに来る運天原行きなご丸も帰りに使える便だと18時からしかないので21～22時ごろの時間帯があると助かります。（id30,-,10代）
- ・学校終了時間が、**水曜日は早いので15時前後**に、ひるぎ学園発があると利用します。（id31,仲尾次,10代）
- ・現在は午前2本、午後2本という便数ですがあと**1つつつでも増やして**欲しいです。（id33,饒平名,10代）

## 調査結果（なご丸が自分にとって使いやすくなるための改善希望 2 / 2）

なご丸が自分にとって使いやすくなるための改善希望の意見では「便数や運行時間帯に関する意見（14件）」、「なご丸の運行ルートに関する意見（6件）」、「その他（2件）」の意見があげられた。

（）内：回答者ID、居住地、年代

### 運行ルートに関する意見

（6件）

- 利用者の少ない時間帯は減らし、**利用者の多い朝夕に集中**させる。**名護市内をもう少しまわるようなルート**にしてほしい。(id4, 饒平名, 10歳未満)
- 羽地の駅も利用はしておりますが、**真喜屋バス停に行く便も増やして**いただけると、とても助かります。畑をする為に南城市から移住してきました。行き帰りにひんぱんに畑行けるようにあと1便でも増やしていただける様、ご検討くださいね。(id5, 城, 65-74歳)
- イオンから**名護市内を通過してターミナルへ行くルート**にすると利便性が上がると思う（名護十字路方面へ行きたい）(id8, 運天原, 60-64歳)
- **マックスバリュー、かねひで、サンエー**行きのルートも作って欲しい。(id18, 大北, 50代)
- 屋我地にある**愛楽園**に勤務しているので、朝9時までには到着するバスと夕方5時以降のバスがあるといいなと思う。(id26, 伊差川, 40代)
- 大中付近から屋我地ひるぎ学園に行くルートがない。**屋我地から博物館前までのルート**があるととても良い。時間帯は朝の7時10分頃。午後17時着位が良い。(id27, 大中, 10代)

### その他の意見

（1件）

- オキカが利用できない車両がある。通学の際に現金を持っていないことがあるため、**オキカ**が全車両使用できるようにしてほしい。(id32, 宇茂佐, 10代)
- **OKICA**を使いたいけど子どもの紛失が怖いので使えない。**通学定期**や利用状況をスマホに連動するなど、プラスαのサービスがあったら利用したいと思う。(id23, 宮里, 10代)

## 調査結果（なご丸が周りの人にとって使いやすくなるための改善意見）

なご丸が自分にとって使いやすくなるための改善希望の意見では「便数や運行時間帯に関する意見（3件）」、「なご丸の運行ルートに関する意見（1件）」、「コミュニティバス以外の手段に関する意見（2件）」、「周知に関する意見（2件）」、「その他（1件）」の意見があげられた。

<> 内：改善の対象者、（）内：回答者ID、居住地、年代

<p>便数や運行時間帯に関する意見 (3件)</p>	<p>&lt;対象：高校生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私もよく夕方5時過ぎ位の67番線を利用することがあり、高校生が多く乗っております。おそらくこの便前後に乗れなかった子どもたちのことだと思います。<b>夕方の名護高校経由</b>便のこともよろしく願います(id5,城,65-74歳)</li> <li>・<b>高校生が帰る時刻が屋我地線だと早い</b>ような気がします。時間帯を改善した方が良いと思います。(id17,田井等,65-74歳)</li> </ul> <p>&lt;対象：大北地区、羽地地区から屋我地ひるぎ学園に通う中学生。&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜日と金曜日は、学校が終わるのが14:30だが、なご丸が来る16:10まで待っている。路線バスの時には、14:55があったが、これだと16:10に終わる他の曜日は17:15まで待たないといけない。月火木曜日は、<b>饒平名発16:12</b>でいいので、<b>水金曜日は、饒平名発15:00ぐらいのバス</b>があると助かる。<b>朝は、名護BT発を30分遅らせる</b>。昼から夕方は、月火木曜日の饒平名発は16:12のままで、水金曜日を15:00ごろにする。また、学校と話し合っ、<b>登校日でない日（土日祝日、夏休みなど）は、バスを走らせなくてもいいのではないか</b>。(id20,済井出,50代)</li> </ul>
<p>運行ルートに関する意見 (1件)</p>	<p>&lt;対象：学生、移動の難しい高齢者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年から利用し始めたので、他のコースはあまりよくわからないが、<b>役所や市民会館</b>などにも手軽に行けば良いと思う。(id10,伊差川,65-74歳)</li> </ul>
<p>コミュニティバス以外の手段に関する意見 (2件)</p>	<p>&lt;対象：全般&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ予約にして、<b>予約の時間帯だけ運行</b>するとかはどうでしょう。乗合タクシーのような(id4,饒平名,10歳未満)</li> </ul> <p>&lt;対象：市街に住んでいる高齢者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと積極的に利用してほしい。もっともっと免許返納を促すべきだと感じる。便数が少ないため片道しか時間帯が合わない、といった問題を解決するための対策が必要だと感じる。<b>タクシー代の半額を行政が負担する、など</b>、なご丸を利用した方が自家用車を保有するより得になる事をもっと周知すべきだと思う。(id23,宮里,10代)</li> </ul>
<p>周知に関する意見 (2件)</p>	<p>&lt;対象：家族の送迎をあてにしている元気な高齢者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私の近所で<b>コミュニティバスに興味がある人は皆無</b>です。残念ですがバス停が遠いのとまだ家族の送迎をあてにしています。さそっても今のところ反応無しです。(id16,-,75歳以上)</li> </ul> <p>&lt;対象：名護市に住む人&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線や時間を<b>もっと多くの人に知ってもらう</b>(id25,田井等,10代)</li> </ul>
<p>その他の意見 (1件)</p>	<p>&lt;対象：オキカ利用者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>オキカが使えないときがある</b>ので、できれば修理を行っていただけると嬉しいです。(id30,-,10代)</li> </ul>

## 調査結果（自由意見）

自由意見では「なご丸の運行に関する意見（6件）」、「デマンド交通導入に関する意見(2件)」、「その他（3件）」の意見があげられた。

<>内：改善の対象者、（）内：回答者ID、居住地、年代

<p>なご丸の運行に関する意見 (6件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 路線バスのところより料金がタダなので、非常に助かっています。ありがとうございます。(id12,-,65-74歳)</li> <li>• <b>運転ができなくなるとこの名護市はアウト</b>です。できるかぎり路線バス、コミュニティバス、両方利用して買物（日用品）や気分転換の為に私は最大限に利用させていただいております。(id16,不明,75歳以上)</li> <li>• アンケートについて疑問を持った点がある。「年間2100万円の市の負担」「減便や廃止も視野に入れて」の文言である。コミュニティバスの取り組みは、運営費の収支という単眼的な視点で見のではなく、<b>移動手段が増えることによって高齢者が地域の中で豊かなコミュニケーションを実現し、医療費も削減され、地域の経済も活性化するなど複合的な視点で見なければならない</b>。学生も同様で、<b>保護者の送迎負担が軽減</b>されると、<b>子育て支援</b>にもなるし、<b>学生の交通マナーも高める</b>ことができる。実際、学生が運転手に「お願いします」「ありがとうございます」と言う場面は、よく見かける。未来の日本や世界で活躍する学生のためにも、公共交通機関は、なくてはならない。それらは、数字で出にくい部分もあるが、市民の幸せを考えるためには、いったん「2100万円」「減便や廃止」は横に置いて、今一度、より<b>丁寧に沿線の地域住民や利用者、運転手ともコミュニケーションをとり、ニーズの把握</b>を進めていただけたらと思う。(id20,済井出,50代)</li> <li>• よく使うから<b>無くならないで欲しい</b>(id22,済井出,10代)</li> <li>• 羽地線ができて、とても助かっています。緑風学園は通学支援があるので同じように屋我地もしてほしい。そのまま<b>続いて欲しいです</b>。(id29,大北,10代)</li> <li>• なご丸運行により<b>とても助かっています</b>が、便数が少ないため、利用できる日数は限られています。通学の時間帯に便数を増やしていただけるととても嬉しいです。(id32,宇茂佐,10代)</li> </ul>
<p>デマンド交通に関する意見 (2件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 南城市の方で市内どこでも500円でいってくれる<b>予約制</b>の市と交通機関で運営している<b>乗合タクシー</b>を利用しておりましたが、名護市の方でもご検討していただけると、嬉しいです。(id5,城,65-74歳)</li> <li>• 私自身、コミュニティバスは、交通弱者の移動手段を確保するために行うものであると考えている。市民の中で交通弱者とは、「学生」「高齢者及び身障者」である。彼ら彼女らの移動手段を確保することは、採算を度外視しても必ずやらなければいけない。一方で、予算は限られている。自家用車を利用する通勤者やレンタカーを利用する観光客にもバスを利用してほしいところだが、ターゲットを広げすぎると、効果が現れない。通勤者や観光客に関しては、「利用してもらえれば儲けもの」と考えて、まずは、何が何でも、市民の交通弱者に焦点を当てなければならない。具体策は、<b>東村のコミュニティバスが参考になる</b>。東村は、朝夕は決まった時刻表があり、通学生が困らないようにしている。一方で、それ以外の時間帯は、<b>予約制</b>をとっており、いくつか設けた拠点から拠点までの移動が確保されている。買い物や病院に行く高齢者や身障者は、<b>日中の予約制のバス</b>を利用する。このように、「学生」のニーズと「高齢者及び身障者」のニーズを満たすことができれば、今よりもコミュニティバスの利用者は増加し、ニーズのない時間帯や場所にバスを走らせなくてもよくなり、運転手の負担軽減や燃料費軽減につながると考える。(id20,済井出,50代)</li> </ul>
<p>その他の意見 (3件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いつもバス停を利用している方がまだバス停に着いていなくても、<b>来るまで止まって少し待っているのが親切</b>だなと日頃から思っています。満席の状態が高齢の方が乗ってくる時、運転者さんがマイクで高校生の方は席を譲ってくださいと放送してくれるのですぐ気づけるので助かります。(id30,-,10代)"</li> <li>• <b>MOBI</b>は使ったことがないが、子連れでは使わないサービスだと感じている。(id23,宮里,10代)</li> <li>• 陸上競技場には毎日たくさんの方が来るけど、<b>駐車場が足りない</b>。21世紀の森公園に移設するか、駐車場を作るべき(id25,田井等,10代)</li> </ul>